

地方史情報 112

2012年12月

ヒトガミ信仰の系譜

佐藤 弘夫

人類の歴史を振り返ったとき、およそこの世のなかに宗教をもたない種族や民族は存在しなかった。歴史時代に入る遙か以前から、ヒトは人間を超えた存在—日本の「神」と区別するために、ここではそれを仮に「カミ」と表記することにしたい—を認識し、その姿を追い求め、その声に耳を傾けてきた。それを考えれば、宗教をもつことこそが人間と他の動物を分ける指標だという指摘も、確かに的を射ているように思われる。それにしても、私たちはなぜカミを必要とするのだろうか。なぜ、これほどまでに執拗にカミを求め続けてきたのだろうか。

はじめにカミが存在したのだという信仰者の立場に立てば、このような疑問は論外である。カミの存在を前提とするそうした見方を、私は決して頭から否定するつもりはない。しかし、ここではその立場は取らない。本書の目的は、カミの誕生と成長を学問的な視座から客観的に把握することである。「まずカミありき」ではなく、この列島の遠い過去の時代に、ほの暗い人間の心の片隅から超越的なものが立ち上がり、その姿をあらわにし、やがて人間をその前にひざまずかせていくそのプロセスを、できるだけ具体的な資料に即して明らかにしていくことが本書の目指すところなのである。(中略)

以上の問題提起を踏まえ、本書ではまずこの列島において、ヒトガミがどのようにして立ち上がってきたかを、できるだけ時代を遡って明らかにしていきたいと考えている。そのうえで、ヒトガミの観念がいかなる変容と展開を経て近代の忠魂の思想にまで流れ込んでいったかを、時代を追いながら、歴史的・文化的コンテクストのなかで検証する。さらに視線を列島の外側に移し、人が超越者に変身するという視点から、海外の諸例と比較しつつ日本列島におけるカミ信仰の独自性について、おおまかな見通しをつけることを目指したいと思っている。

こうした検討を通じて本書では、日本列島においてカミの発見とヒトガミの誕生が深くかかわっていることを明らかにして、その視点からカミの出現とその観念の発展をめぐる一つの仮説を提示するつもりである。以上の問題の解明を目指す本書では、日本の「神」の独自性や靖国神社をめぐる議論に対しても、それを深め発展させることのできる新たな素材と論点を提示できると考えている。それは同時に、「なぜ日本人は無宗教なのか」という問いに代表される「日本人」の宗教性をめぐる議論にも、一つの方向性を示すものとなるにちがいない。

(佐藤弘夫著『ヒトガミ信仰の系譜』、2012.09、小社刊、序章より)

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆アイヌ語地名研究会会報

〒005-0803札幌市南区川沿三条4-6-5 打田元輝方 Tel011-571-4613 / 〒062-0007札幌市豊平区美園七条1丁目3-1-507 高木崇世芝方 Tel011-821-2831 年5000円

◇44 2012.5 B5 6p

第16回アイヌ語地名研究大会の開催さまる

北海道に産する「からす貝」と呼ばれる貝類について 斎藤 和範

『北海道の文化』掲載アイヌ語地名関係記事の紹介

図書・会誌・会報・論文などの紹介

◆屯田 北海道屯田倶楽部

〒001-0905札幌市北区新琴似五条5-3-11
Tel011-761-8014 1985年創刊
www2.ocn.ne.jp/~history/

◇51 2012.4 B5 72p 1000円

巻頭言 表紙の色の意味 後藤 良二
子思孫尊 土地にこだわり125年

祖母に教わった節操と誇り 新琴似・黒田家当主 黒田徹さん

「屯田兵屋」見学記 武石 詔吾
屯田兵関係の主な博物館・史跡等

一覧

天を覆う飛蝗の大襲来—北海道開

拓途上に起きた虫害の秘話 奥田 静夫
屯田兵交友財産をめぐって(9)

戦後まで保持した野幌、江別、

端野兵村 河野 民雄

一節抜粋 若林滋著『昭和天皇の親代わり』、佐藤さとる著『海の志願兵』

古地図の散歩道 「北門の鎖鑰」
図上で検討? 北海道略図

1895年(明治28)作成 北海道大学附属図書館北方資料室所蔵

「家族教令」は封建統治の軀だったのか—屯田兵村の精神風土を

探る 梶田 博昭

表紙から 軍記に描かれた屯田兵
『通俗絵本鹿兒島軍記』明治20

(1887)年
屯田兵二世の歩んだ道 北海道陶

芸の先駆け 山田昌雄 佐藤 公子
図説北海道屯田兵制度(1)

◆北方民族博物館だより

北海道立北方民族博物館
〒093-0042北海道網走市潮見309-1
Tel0152-45-3888 1991年創刊
hoppohm.org

◇85 2012.6 A4 4p

表紙 H7.27 魚骨裝飾付き魚皮製衣服 1995年 84.cm ナー

ナイ ロシア/ハバロフスク地方アチャン村

ロビー展 北方民族素材シリーズ
1 目からうろこの魚皮ワール

ド 山田 祥子
はくぶつかんクラブ

土器作り(1) 講師:小番宗幸 角 達之助

講座 フィンランドにおけるサー
ミ文化の現状と博物館1 講師
:タルモ・ヨンパネン 笹倉いる美
第27回特別展「東シベリア・サハ
永久凍土の大地に生きる」

◆郷土しりょうかん

巨理町立郷土資料館
〒989-2351巨理郡巨理町字西郷140
Tel0223-34-8701

◇105 2012.6 A4 4p

新着資料紹介 化粧品入れ 寄贈
日:平成22年5月26日 寄贈者:

永田さだ子氏

収蔵資料展 鹿島小学校教科書、
トランジスタラジオ、やりばこ

「G O・G O悠里館まつり」
開催しました

ミニ展示&パネル展示開催 平成
24年7月24(火)~8月30日(木)

ミニ展示「巨理伊達家の資料」、
「平成23年度宮城の発掘調査パ
ネル展」/文化財めぐり実施中

◆歴史 東北史学会

〒980-0862仙台市青葉区川内 東北大学文
学部 日本史研究室 Tel022-217-6064
年4000円 1949年創刊

www.sal.tohoku.ac.jp/nihonshi/t-shigakukai/

◇118 2012.4 A5 195p 2100円

《特集 災害と歴史資料保全》

特集にあたって

歴史における「成長」と「衰退」
—「成長パラノイア」とイギリ

ス衰退論争をめぐって 川北 稔

非常・非命の歴史学

—近世東北の災害・飢饉史 菊池 勇夫
近代巨大地主家宮城県桃生郡河南

町斎藤家の来歴と伝存史料群の
構成—被災救出史料の整理・公
開の一事例 大藤 修
阪神・淡路大震災の震災資料をめ
ぐる現状と課題—人と防災未来
センター資料室の取り組みから

吉川圭太/兒玉州平

三・一一大震災・宮城資料ネット
の歴史資料レスキュー 佐藤 大介

ひとつでも多くの文化遺産を未来
へ 豊田 龍平

東日本大震災後の福島県における
歴史資料保全活動—国見町の取

り組みを例として 阿部浩一/大栗行貴
岩手ネットの活動 菅野 文夫

非公家沙汰諸国所課再論 遠藤 基郎
明治初年大隈重信と大蔵省勸農政

策 小幡 圭祐
書評

渡邊俊著『中世社会の刑罰と法
観念』 石川 光年

松尾剛次著『中世律宗と死の文
化』 小野澤 眞

大会記事

歴史的文化遺産と震災・復興記録

の保存・活用についての要望書

宮城県知事・宮城県公文書館長
/仙台市長

◆秋田歴研協会誌

秋田県歴史研究者・研究団体協議会

〒010-1341秋田県秋田市雄和新波本屋敷90
工藤一紘方 Tel018-887-2007 1996年創刊

akita-nct.ac.jp/~wakino/rekiken.html

◇49 2012.5 B5 20p

特集 秋田歴研協第18回大会記録

講演 鳥海山の噴火、火山泥
流、津波について、八峰町にお

ける津波対策—火山地質学・歴
史上の地震をふまえて 林 信太郎
用語解説 久保田外町の町運営に
係わる用語 半田 和彦
歴史情報
『ひなのあそび』にみえる五城
目の盆踊りを考える(下) 麻生 正秋
秋田歴研協創立の頃を憶う 田口勝一郎
横手といえ—『横手市史 通史
編近現代』刊行に寄せて 河西 英通
文献情報／催しもの情報

◆菅江真澄研究 菅江真澄研究会
〒011-0909秋田県秋田市寺内見桜1-5-55
古四王神社社務所内 TEL018-845-0333
1981年創刊
w2.amn.ne.jp/~sugae/masumi.html
◇76 2012.5 B5 64p
隨筆『筆のまにまに』にみる菅江
真澄の執筆態度 金児 絃征
『ひなの一ふし』にみる民謡の源
流と変遷(1) 菊地 利雄
「月見堂の鈴木家」を読む
—榮隆と吉原由之 大石 淳
地誌《水のおもかげ》を考える 高橋 一夫
論考紹介 新野直吉「菅江真澄は
国学者に非ざるの考」 小笹 鉄文
ふるさと再発見—『勝手の雄弓』
から探る岩見三内の魅力 石塚 正久
真澄の一枚(8)
諏訪神社上社本宮 菊地 利雄
五城目町を菅江真澄が歩いた道
—説明板・標柱の説明 伊藤 敏雄
全国菅江真澄研究会男鹿大会の
お知らせ 田口 昌樹
真澄短信

◆南陽の歴史 南陽の歴史を知る会会報
〒999-2232山形県南陽市三間通361-8
須崎寛二方 TEL0238-43-5299
◇189 2012.6 B5 8p
宮内熊野神社おぼえがき(7) 台
林院法田の褒賞—続々 台林院
法田について 須崎 寛二
第211回学習会報告 村の生活、
在郷宿医、種痘、北条郷の「赤
ひげ」

◆福島県史料情報 (勸福島県文化振興事業団
〒960-8116福島市春日町5-54
TEL024-534-9193 2002年創刊
www.history-archives.fks.ed.jp
◇33 2012.6 A4 4p
『水産旧慣調』と鮫川の鮭漁 鮭
ヲ捕漁スル図(『水産旧慣調』、
明治・大正期の福島県庁文書
3017号) 渡邊 智裕
福島城下の絵図 山内 幹夫
御仕法と山中郷 小野孝太郎
白水阿弥陀堂の仏像修理と岡倉天
心 渡邊 智裕
災害の記憶を風化させない 本間 宏

関 東

◆茨城史林
茨城地方史研究会(発売:筑波書林)
〒310-0844茨城県水戸市住吉町133-14
年2000円 1972年創刊
◇36 2012.6 A5 148p 1048円
震災について思うこと 佐久間好雄
古代常陸国新知郡新知郷について
久信田喜一
光圀の元禄期和歌活動—新出資料
『光圀和歌園詠草集』を通じて 二村 博
戦国武士から近世武士・農民へ—

山尾旧臣鈴木玄淳家と高松分家 笹岡 明
水戸街道稻吉宿と心中事件—旗本
小出氏次男林竹次郎の相対死一
件を中心として 栗原 亮
東日本大震災特集
弘道館・偕楽園の被災と復旧へ
の歩み 小坪のり子
被災状況—震災後のメールから
富田 任
文化財・歴史資料の被災状況と
救済活動 沼澤 佳子
学校現場における3月11日とそ
の後 毛塚 裕之
史料紹介
結城水野家文書「水野落去記」
県内歴史研究団体紹介
日立歴史研究会 小浜 一男
新刊紹介 小松徳年著『水戸藩の
政治と庶民の動向』
歴史館刊行物案内／活動概況報告

◆茨城の思想研究 茨城の思想研究会
〒310-0044茨城県水戸市西原町1-11-13
後藤彰彦方 TEL029-251-4668
◇11 2012.5 A5 80p
巻頭言 「戦争」と「原発事故」の
類似性は? 後藤 彰彦
福島第一原発事故と文明史の転換
栗原 亮
東海第二原子力発電所を廃炉にし
よう 高村 主水
「日本ファシズム」と超国家主義
思想の位相—橋孝三郎と北一輝
の「労働観」を中心として 菅谷 務
2011年の年末所感 武藤 功
八十七年前の野口雨情—盛岡市で
撮られた一枚の写真 幕内 満雄

会員の本・紹介
栗原亮著『忠臣蔵の真実』
義の相克を活写 武藤 功
木戸田四郎著『近世村方騒動の
変容—下総国結城郡の場合—』
桐原 邦夫
桐原邦夫著『士族授産と茨城の
開墾事業』 菅谷 務
研究会と総会の経過

◆下妻の文化 下妻市文化団体連絡協議会
〒304-0067茨城県下妻市下妻乙349
TEL0296-43-3418 1976年創刊
◇37 2012.5 A5 170p
口 絵
スルハンダルヨ州の人 羽子田長門
黄山谷詩 柳 華舟
特別寄稿
ごあいさつ 稲葉 本治
下妻に赴任して 小島 淳
今だからこそやらなければなら
ない教育 横瀬 晴夫
博物館が芸術の館に 石浜 義則
第4回ヨコハマトリエンナーレ
2011展の中国人作家の作品を
中心に 田所 政江
随想編
小野子千手観音の由来と昔ばな
し 吉井 弘
パパヤチニカⅡ 外山 崇行
地域の「絆」で神輿の新調 角田 惟也
母校の歴史を訪ねて(4)
—門柱と表札の変遷から 中島 成行
鬼怒川の昔・今 島田 武男
下妻ロータリークラブについて
坂入 誠
「大宝祭り」の思い出 千勝 弘巳
父の眠るニューギニアを訪ねて

飯田 光信
初代井上下妻藩主井上正長寄進
の石燈籠について 佐久間秀樹
下妻いとこ案内人の会に参加
して一観光ボランティアガイ
ド 粉川 孝
第2回下妻の伝統芸能祭の裏話 大塚 武彦
追憶 霜 昭
飛べ零戦 鈴木 賢一
老いと云う事 出浦 智枝
忘れたくない先輩のこぼれ 柳 操
長野に遊んで 飯田みつ江
ひな祭りに思う 神田 光子
絵手紙に生かされて 杉山 しつ
活動編・よろこび
陶に遊ぶ 谷口 崇明
趣味を楽しめる歳になって 大野 勇
笑顔でフラを 池田 正子
はじめての福祉施設訪問 國府田 晋
春日大社「古事記・犬養孝揮毫
記紀歌謡歌碑」奉納 大木 昇
美に救われて 会田 米子
楽しい下妻将棋会 藤田 博
歌うよろこび 粉川喜久子
和紙ちぎり絵全国展 塚原 雅子
懸崖作り奮戦記 鈴木 茂
「つくる」ということ (13)
鯨井幸子事 西崎幸樹
文化祭にむけて 栗原 キヨ
私の体験と絆 野村とき子
私の生涯教育—グループ叢のメ
ンバーとして 福田 祐子
新しい出逢い 杉田 芳江
今年も頑張ります!! 福井 克明
報告
活動のあと (平成23年度) 各 団 体
研修視察記「三溪園」 小林 祐
一年のあしあと 寺田 陽子

◆長塚節の文学 長塚節研究会
〒300-2707茨城県常総市本石下4639
TEL0297-42-2003 年3000円 1994年創刊
◇18 2012.5 A5 69p 1000円
「日本名歌百撰」長塚節の一首 安田 暁男
戦前の覇誌掲載の節関連記事など 橋本 俊明
長塚節の写生について再考 桐原 光明
もう一人の「エリス」と長塚節—
大澤岳太郎とユリアの娘・エリ
ーセ 松野 高久
『土』の方言文法 宮島 達夫
節と旅の歌 (2) 飯塚 知子
長塚節の故郷を訪ねて 岩淵 憲弥
説の母のこと 長塚 知子
原宿村の鍛冶屋 河合 宏

◆水戸史学 水戸史学会
〒310-0852茨城県水戸市笠原町979-42
但野正広方 TEL029-243-6910 1974年創刊
◇76 2012.6 A5 76p
『大日本史』孝子伝の構成につい
て 梶山 孝夫
『大日本史』敏達・用明・崇峻天
皇本紀の基礎的研究 堀井 純二
楓巷余韻 大貳と東雄—新治郡林
村を訪れて 名越 時正
新刊紹介
小野寺靖氏著『水濱電車』 但野 正弘
義公の足跡を訪ねて (23) 住谷 光一

◆史談 安蘇史談会
〒327-0004栃木県佐野市赤坂町229
大高八三郎方 TEL0283-24-3232
年2000円 1985年創刊
◇28 2012.5 A4 156p
巻頭言 エラスムス木像に見る
“刷り込み現象” 京谷 博次

『西方町史』編纂過程で見た佐野 京谷 博次
永正4年足利高氏(高基)幻の佐野
攻め—第一次古河公方 足利政
氏・高氏(高基)抗争によせて 鴨志田智啓
「室の八鳥」と煙の謎に関する一
考察—旧藤岡町甲に「室の八
鳥」を刻む金石文を発見 清水 喜三
小野寺を訪れた名僧たち『最澄と
一遍と親鸞』 永島 正夫
徳川吉宗政権と鷹場制度の復活・
整備 海老名脩治
葛生天神橋の名称と川を挟んだ飛
び地について 黒田 哲哉
小林真齋先生のこと(補遺) 大明
山本光禪寺境内の「小林真齋翁
遺髮碑」を読む 廣木 雅子
小林真齋先生と森鷗村をめぐる人
びと 山口 徹
庚申塔—この一年 川田 春樹
藤原秀郷公ゆかりの神社 大森千哥子
佐野常民の唐澤山神社創建への道
程(中編3) 栄壽左衛門、佐賀
藩精煉方で活躍する 大高八三郎
医院開業の招待状 京谷 博次
寺野東遺跡の保存について(1) 海老原脩治
信州の鎌倉と北斎の地を訪ねて 篠崎 澄子
初詣に参加して 青山 守
平成23年度安蘇史談会日誌

◆ぐんま地域文化 (勸群馬地域文化振興会
〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26
群馬県立文書館内 TEL027-221-2346
1993年創刊
◇38 2012.5 AB 36p
《玉村町地域特集》
歴史を掘る 玉村町芝根7号墳出
土の三角縁神獣鏡 右島 和夫
国会設立以来の軌跡 横山 巖

第18回 石川薫記念地域文化賞
功労賞 澤口宏／研究賞 小山
友孝・唐澤至朗／奨励賞 岩宿
フォーラム実行委員会
発掘情報 下之宮中沖遺跡 天明
3年の耕地復旧と寛保2年の水害 石守 晃
図録 ぐんまの文化財
玉村八幡宮の建築 村田 敬一
ぐんまの歴史入門講座
第130講 古墳時代の玉村町地域 右島 和夫
第131講 宇津木氏の登場—玉村
の中近世移行期 築瀬 大輔
第132講 近世日本数学と玉村—
齊藤宜長・宜義と木暮武申 小林 龍彦
第133講 玉村の教育の歴史 関口 政純
第134講 玉村町の石造文化財
石造物の見方(27) 秋池 武
古文書解読入門講座(25)—古文書
から歴史を読む 北条家伝馬手
形 中島 直樹
地域づくりと文化遺産 歴史資産
を生かした協働のまちづくり 小柴 可信
ぐんまのくらしと民俗 千輝玉斎
筆「豊年満作図」にみる民具と
くらし 神宮 善彦
ぐんまの川と生活
玉村と利根川・鳥川 澤口 宏
ぐんまの人物誌 渡邊三右衛門—
幕末維新期の玉村地方を克明に
記録 萩原 佳子
ぐんまの郷土芸能
玉村町五料の水神祭り 板橋 春夫
ぐんまの地名 玉村の地名 若月 勝男
研究・学習サークル活動紹介
玉村郷土史談話会 町田 未明
出版情報 玉村町刊行物の紹介 根岸 朋子

ぐんまの自然と風土
利根川を遡るサケ 齊藤 裕也

◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会
〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26
群馬県立文書館内 TEL027-221-2346
年4000円 1957年創刊
members3.jcom.home.ne.jp/gunmabunka/

◇310 2012.4 A5 68p
「風呂川」の原型についての一説
論 関口 功一

律令以後における上毛野氏・下毛
野氏一豊城入彦命系譜の中心氏
族として 須永 忍

動向 群馬県下における地震災害
の資料化について一観昌寺の宝
篋印塔に残された西埼玉地震の
民間記録 能登健/内田健治

文化財レポート
玉村町下之宮高俣遺跡 石守 晃
群馬県指定天然記念物「針山の

天王ザクラ」 星野 孝俊
国指定名勝 楽山園 小安 和順
新刊紹介

右島和夫・若狭徹・内山敏行編
『季刊考古学・別冊17 古墳
時代毛野の実像』 前澤 和之

荻野富士夫著『太平洋の架橋者
角田柳作―「日本学」のSEN
SEI』 星野 富夫

平山優著『真田三代 幸綱・昌
幸・信繁の史実に迫る』 秋山 正典
前橋市教育委員会編『新版 前
橋の文化財』 小島 純一

口絵 引札「恵比須と養老の滝」
一群馬県立歴史博物館蔵品資料
(111) 神宮 善彦

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会
〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1
TEL027-223-2785 年4500円 1973年創刊
www16.plala.or.jp/kuzira226/

◇224 2012.5 A5 56p
《特集 平成の新指定一東毛編》
平成の新指定一東毛編一覧表 井野 修二
五種鈴について(国指定重要文化
財) 長柄 行光

世良田諏訪下古墳群出土埴輪等
217点 附土器・埴輪残欠 一
括/普光庵月船深海墓所出土骨
臓器 4点 附石櫃 1点 須永 光一

下田遺跡2号河道出土縄文時代遺
物/境ヶ谷戸遺跡2号住居跡出
土遺物一括/前六供遺跡3号井
戸出土遺物一括 小宮 俊久

古海松塚11号古墳出土遺物一括に
ついて 関本 寿雄
龍舞賀茂神社の萬燈祭 岸 伸洋

中溝・深町遺跡(太田市新田小金
井町320-3) 静野 勝信
高島小学校のトウグミ 森戸 栄一

平成の新指定文化財(館林市) 岡屋 英治
れきさんサロン
多胡碑新時代を迎えて 和田 健一

木島本陣歌碑 片山 壹晴
綾小路有長の歌の解釈 片山 壹晴
高山彦九郎日記による歴史散歩
(31) 『丁酉春旅』(11) 正田 喜久

激動昭和に生きた人々(11)
東宮鐵男と武装移民(2) 東宮 春生
平成24年度新入会員
歴史散歩の報告 山崎 正

◆群馬地名だより 群馬地名研究会
〒371-0835群馬県前橋市前箱田町29-8
小池照一方 TEL027-251-7660 1989年創刊

◇80 2012.4 B5 6p
トト原 中村 倫司
平成23年度事業報告

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会
〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1064-4
1979年創刊
◇130 2012.6 B5 4p
桃木川の流路変更について 関口 功一
三河万歳の「檀家帳」について 岡田 昭二

◆郷土とはがや 鳩ヶ谷郷土史会
〒334-0002埼玉県鳩ヶ谷市本町1-15-21
花岡武司方 TEL048-281-3509 1977年創刊
◇69 2012.5 A5 77p 1000円
巻頭言 矢作尚也さん、鳩ヶ谷と
川口市が合併しちゃいましたよ
川口市・鳩ヶ谷市合併記念 日光
御成道シンポジウム―二つの宿
場をつなぐ道 加藤 信明
哀悼 永瀬洋治前市長ご逝去を悼
んで 岡田 博
浦寺にあった地藏堂は法性寺「旦
過(短歌)(鍬)寮」であった 若松 哲夫
鳩ヶ谷の生物(16)
都市鳥になったハクセキレイ 藤波不二雄
新刊紹介 頂いた二冊 句集『慈
悲の紅葉』・『瞎驢記 五』
スモール.h.グテイ
鳩ヶ谷・川口市で叙勲された教
育者 花岡 武司
蝶から見た温暖化(3) 藤波不二雄
荷風と鳩ヶ谷(中ノ二)
一銅像の見える風景 金井 英一
郷土史会見学会参加記
歴史と流れ 吉田 洋二
小谷三志をめぐる人々(67) 幕末
から明治初年の鳩ヶ谷の商工業

◇80 2012.4 B5 6p
トト原 中村 倫司
平成23年度事業報告

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会
〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1064-4
1979年創刊
◇130 2012.6 B5 4p
桃木川の流路変更について 関口 功一
三河万歳の「檀家帳」について 岡田 昭二

◆郷土とはがや 鳩ヶ谷郷土史会
〒334-0002埼玉県鳩ヶ谷市本町1-15-21
花岡武司方 TEL048-281-3509 1977年創刊
◇69 2012.5 A5 77p 1000円
巻頭言 矢作尚也さん、鳩ヶ谷と
川口市が合併しちゃいましたよ
川口市・鳩ヶ谷市合併記念 日光
御成道シンポジウム―二つの宿
場をつなぐ道 加藤 信明
哀悼 永瀬洋治前市長ご逝去を悼
んで 岡田 博
浦寺にあった地藏堂は法性寺「旦
過(短歌)(鍬)寮」であった 若松 哲夫
鳩ヶ谷の生物(16)
都市鳥になったハクセキレイ 藤波不二雄
新刊紹介 頂いた二冊 句集『慈
悲の紅葉』・『瞎驢記 五』
スモール.h.グテイ
鳩ヶ谷・川口市で叙勲された教
育者 花岡 武司
蝶から見た温暖化(3) 藤波不二雄
荷風と鳩ヶ谷(中ノ二)
一銅像の見える風景 金井 英一
郷土史会見学会参加記
歴史と流れ 吉田 洋二
小谷三志をめぐる人々(67) 幕末
から明治初年の鳩ヶ谷の商工業

◆郷土とはがや 鳩ヶ谷郷土史会
〒334-0002埼玉県鳩ヶ谷市本町1-15-21
花岡武司方 TEL048-281-3509 1977年創刊
◇69 2012.5 A5 77p 1000円
巻頭言 矢作尚也さん、鳩ヶ谷と
川口市が合併しちゃいましたよ
川口市・鳩ヶ谷市合併記念 日光
御成道シンポジウム―二つの宿
場をつなぐ道 加藤 信明
哀悼 永瀬洋治前市長ご逝去を悼
んで 岡田 博
浦寺にあった地藏堂は法性寺「旦
過(短歌)(鍬)寮」であった 若松 哲夫
鳩ヶ谷の生物(16)
都市鳥になったハクセキレイ 藤波不二雄
新刊紹介 頂いた二冊 句集『慈
悲の紅葉』・『瞎驢記 五』
スモール.h.グテイ
鳩ヶ谷・川口市で叙勲された教
育者 花岡 武司
蝶から見た温暖化(3) 藤波不二雄
荷風と鳩ヶ谷(中ノ二)
一銅像の見える風景 金井 英一
郷土史会見学会参加記
歴史と流れ 吉田 洋二
小谷三志をめぐる人々(67) 幕末
から明治初年の鳩ヶ谷の商工業

◆郷土とはがや 鳩ヶ谷郷土史会
〒334-0002埼玉県鳩ヶ谷市本町1-15-21
花岡武司方 TEL048-281-3509 1977年創刊
◇69 2012.5 A5 77p 1000円
巻頭言 矢作尚也さん、鳩ヶ谷と
川口市が合併しちゃいましたよ
川口市・鳩ヶ谷市合併記念 日光
御成道シンポジウム―二つの宿
場をつなぐ道 加藤 信明
哀悼 永瀬洋治前市長ご逝去を悼
んで 岡田 博
浦寺にあった地藏堂は法性寺「旦
過(短歌)(鍬)寮」であった 若松 哲夫
鳩ヶ谷の生物(16)
都市鳥になったハクセキレイ 藤波不二雄
新刊紹介 頂いた二冊 句集『慈
悲の紅葉』・『瞎驢記 五』
スモール.h.グテイ
鳩ヶ谷・川口市で叙勲された教
育者 花岡 武司
蝶から見た温暖化(3) 藤波不二雄
荷風と鳩ヶ谷(中ノ二)
一銅像の見える風景 金井 英一
郷土史会見学会参加記
歴史と流れ 吉田 洋二
小谷三志をめぐる人々(67) 幕末
から明治初年の鳩ヶ谷の商工業

◆郷土とはがや 鳩ヶ谷郷土史会
〒334-0002埼玉県鳩ヶ谷市本町1-15-21
花岡武司方 TEL048-281-3509 1977年創刊
◇69 2012.5 A5 77p 1000円
巻頭言 矢作尚也さん、鳩ヶ谷と
川口市が合併しちゃいましたよ
川口市・鳩ヶ谷市合併記念 日光
御成道シンポジウム―二つの宿
場をつなぐ道 加藤 信明
哀悼 永瀬洋治前市長ご逝去を悼
んで 岡田 博
浦寺にあった地藏堂は法性寺「旦
過(短歌)(鍬)寮」であった 若松 哲夫
鳩ヶ谷の生物(16)
都市鳥になったハクセキレイ 藤波不二雄
新刊紹介 頂いた二冊 句集『慈
悲の紅葉』・『瞎驢記 五』
スモール.h.グテイ
鳩ヶ谷・川口市で叙勲された教
育者 花岡 武司
蝶から見た温暖化(3) 藤波不二雄
荷風と鳩ヶ谷(中ノ二)
一銅像の見える風景 金井 英一
郷土史会見学会参加記
歴史と流れ 吉田 洋二
小谷三志をめぐる人々(67) 幕末
から明治初年の鳩ヶ谷の商工業

◆郷土とはがや 鳩ヶ谷郷土史会
〒334-0002埼玉県鳩ヶ谷市本町1-15-21
花岡武司方 TEL048-281-3509 1977年創刊
◇69 2012.5 A5 77p 1000円
巻頭言 矢作尚也さん、鳩ヶ谷と
川口市が合併しちゃいましたよ
川口市・鳩ヶ谷市合併記念 日光
御成道シンポジウム―二つの宿
場をつなぐ道 加藤 信明
哀悼 永瀬洋治前市長ご逝去を悼
んで 岡田 博
浦寺にあった地藏堂は法性寺「旦
過(短歌)(鍬)寮」であった 若松 哲夫
鳩ヶ谷の生物(16)
都市鳥になったハクセキレイ 藤波不二雄
新刊紹介 頂いた二冊 句集『慈
悲の紅葉』・『瞎驢記 五』
スモール.h.グテイ
鳩ヶ谷・川口市で叙勲された教
育者 花岡 武司
蝶から見た温暖化(3) 藤波不二雄
荷風と鳩ヶ谷(中ノ二)
一銅像の見える風景 金井 英一
郷土史会見学会参加記
歴史と流れ 吉田 洋二
小谷三志をめぐる人々(67) 幕末
から明治初年の鳩ヶ谷の商工業

◆郷土とはがや 鳩ヶ谷郷土史会
〒334-0002埼玉県鳩ヶ谷市本町1-15-21
花岡武司方 TEL048-281-3509 1977年創刊
◇69 2012.5 A5 77p 1000円
巻頭言 矢作尚也さん、鳩ヶ谷と
川口市が合併しちゃいましたよ
川口市・鳩ヶ谷市合併記念 日光
御成道シンポジウム―二つの宿
場をつなぐ道 加藤 信明
哀悼 永瀬洋治前市長ご逝去を悼
んで 岡田 博
浦寺にあった地藏堂は法性寺「旦
過(短歌)(鍬)寮」であった 若松 哲夫
鳩ヶ谷の生物(16)
都市鳥になったハクセキレイ 藤波不二雄
新刊紹介 頂いた二冊 句集『慈
悲の紅葉』・『瞎驢記 五』
スモール.h.グテイ
鳩ヶ谷・川口市で叙勲された教
育者 花岡 武司
蝶から見た温暖化(3) 藤波不二雄
荷風と鳩ヶ谷(中ノ二)
一銅像の見える風景 金井 英一
郷土史会見学会参加記
歴史と流れ 吉田 洋二
小谷三志をめぐる人々(67) 幕末
から明治初年の鳩ヶ谷の商工業

◆郷土とはがや 鳩ヶ谷郷土史会
〒334-0002埼玉県鳩ヶ谷市本町1-15-21
花岡武司方 TEL048-281-3509 1977年創刊
◇69 2012.5 A5 77p 1000円
巻頭言 矢作尚也さん、鳩ヶ谷と
川口市が合併しちゃいましたよ
川口市・鳩ヶ谷市合併記念 日光
御成道シンポジウム―二つの宿
場をつなぐ道 加藤 信明
哀悼 永瀬洋治前市長ご逝去を悼
んで 岡田 博
浦寺にあった地藏堂は法性寺「旦
過(短歌)(鍬)寮」であった 若松 哲夫
鳩ヶ谷の生物(16)
都市鳥になったハクセキレイ 藤波不二雄
新刊紹介 頂いた二冊 句集『慈
悲の紅葉』・『瞎驢記 五』
スモール.h.グテイ
鳩ヶ谷・川口市で叙勲された教
育者 花岡 武司
蝶から見た温暖化(3) 藤波不二雄
荷風と鳩ヶ谷(中ノ二)
一銅像の見える風景 金井 英一
郷土史会見学会参加記
歴史と流れ 吉田 洋二
小谷三志をめぐる人々(67) 幕末
から明治初年の鳩ヶ谷の商工業

◆郷土とはがや 鳩ヶ谷郷土史会
〒334-0002埼玉県鳩ヶ谷市本町1-15-21
花岡武司方 TEL048-281-3509 1977年創刊
◇69 2012.5 A5 77p 1000円
巻頭言 矢作尚也さん、鳩ヶ谷と
川口市が合併しちゃいましたよ
川口市・鳩ヶ谷市合併記念 日光
御成道シンポジウム―二つの宿
場をつなぐ道 加藤 信明
哀悼 永瀬洋治前市長ご逝去を悼
んで 岡田 博
浦寺にあった地藏堂は法性寺「旦
過(短歌)(鍬)寮」であった 若松 哲夫
鳩ヶ谷の生物(16)
都市鳥になったハクセキレイ 藤波不二雄
新刊紹介 頂いた二冊 句集『慈
悲の紅葉』・『瞎驢記 五』
スモール.h.グテイ
鳩ヶ谷・川口市で叙勲された教
育者 花岡 武司
蝶から見た温暖化(3) 藤波不二雄
荷風と鳩ヶ谷(中ノ二)
一銅像の見える風景 金井 英一
郷土史会見学会参加記
歴史と流れ 吉田 洋二
小谷三志をめぐる人々(67) 幕末
から明治初年の鳩ヶ谷の商工業

◆郷土とはがや 鳩ヶ谷郷土史会
〒334-0002埼玉県鳩ヶ谷市本町1-15-21
花岡武司方 TEL048-281-3509 1977年創刊
◇69 2012.5 A5 77p 1000円
巻頭言 矢作尚也さん、鳩ヶ谷と
川口市が合併しちゃいましたよ
川口市・鳩ヶ谷市合併記念 日光
御成道シンポジウム―二つの宿
場をつなぐ道 加藤 信明
哀悼 永瀬洋治前市長ご逝去を悼
んで 岡田 博
浦寺にあった地藏堂は法性寺「旦
過(短歌)(鍬)寮」であった 若松 哲夫
鳩ヶ谷の生物(16)
都市鳥になったハクセキレイ 藤波不二雄
新刊紹介 頂いた二冊 句集『慈
悲の紅葉』・『瞎驢記 五』
スモール.h.グテイ
鳩ヶ谷・川口市で叙勲された教
育者 花岡 武司
蝶から見た温暖化(3) 藤波不二雄
荷風と鳩ヶ谷(中ノ二)
一銅像の見える風景 金井 英一
郷土史会見学会参加記
歴史と流れ 吉田 洋二
小谷三志をめぐる人々(67) 幕末
から明治初年の鳩ヶ谷の商工業

◆郷土とはがや 鳩ヶ谷郷土史会
〒334-0002埼玉県鳩ヶ谷市本町1-15-21
花岡武司方 TEL048-281-3509 1977年創刊
◇69 2012.5 A5 77p 1000円
巻頭言 矢作尚也さん、鳩ヶ谷と
川口市が合併しちゃいましたよ
川口市・鳩ヶ谷市合併記念 日光
御成道シンポジウム―二つの宿
場をつなぐ道 加藤 信明
哀悼 永瀬洋治前市長ご逝去を悼
んで 岡田 博
浦寺にあった地藏堂は法性寺「旦
過(短歌)(鍬)寮」であった 若松 哲夫
鳩ヶ谷の生物(16)
都市鳥になったハクセキレイ 藤波不二雄
新刊紹介 頂いた二冊 句集『慈
悲の紅葉』・『瞎驢記 五』
スモール.h.グテイ
鳩ヶ谷・川口市で叙勲された教
育者 花岡 武司
蝶から見た温暖化(3) 藤波不二雄
荷風と鳩ヶ谷(中ノ二)
一銅像の見える風景 金井 英一
郷土史会見学会参加記
歴史と流れ 吉田 洋二
小谷三志をめぐる人々(67) 幕末
から明治初年の鳩ヶ谷の商工業

◆郷土とはがや 鳩ヶ谷郷土史会
〒334-0002埼玉県鳩ヶ谷市本町1-15-21
花岡武司方 TEL048-281-3509 1977年創刊
◇69 2012.5 A5 77p 1000円
巻頭言 矢作尚也さん、鳩ヶ谷と
川口市が合併しちゃいましたよ
川口市・鳩ヶ谷市合併記念 日光
御成道シンポジウム―二つの宿
場をつなぐ道 加藤 信明
哀悼 永瀬洋治前市長ご逝去を悼
んで 岡田 博
浦寺にあった地藏堂は法性寺「旦
過(短歌)(鍬)寮」であった 若松 哲夫
鳩ヶ谷の生物(16)
都市鳥になったハクセキレイ 藤波不二雄
新刊紹介 頂いた二冊 句集『慈
悲の紅葉』・『瞎驢記 五』
スモール.h.グテイ
鳩ヶ谷・川口市で叙勲された教
育者 花岡 武司
蝶から見た温暖化(3) 藤波不二雄
荷風と鳩ヶ谷(中ノ二)
一銅像の見える風景 金井 英一
郷土史会見学会参加記
歴史と流れ 吉田 洋二
小谷三志をめぐる人々(67) 幕末
から明治初年の鳩ヶ谷の商工業

開発者一鳩ヶ谷商工会講演から
岡田 博
歴史資料 祝鳩ヶ谷市制施行十周
年記念(新聞折込チラシ)

◆日本の石仏
日本石仏協会(発売:青娥書房)
〒357-0067埼玉県飯能市小瀬戸29
TEL042-971-6512 年8000円 1977年創刊
www1.pbc.ne.jp/users/sekibutu/

◇142 2012.6 A5 80p 2100円
巻頭随想 新緑の感傷
―タイムスリップして 坂口 和子

《特集 石仏探訪X》
埼玉県を走る東武東上線に沿って
俱利伽羅龍王を訪ねる 長島 誠
佐賀県小城町・船観音を訪ねて 中野 高通
愛媛県城川町の田神様と茶堂を訪
ねて 水野 英世

石仏の宝庫 日和田高原 新井るい子
中世の三大五輪塔探訪 井上 勇
北陸三県の祐天名号塔 滝本やすし
衆苦を救った待定法師と念仏碑 市村 幸夫
埼玉県川島町南戸寺・旧観音寺の
「談義千座供養塔」 門間 勇

誌上講座
名号塔の知識(10) 岡村 庄造
「石」を知る(32) 小松 光衛
石燈籠入門(52) 嘉津山 清
石仏写真と私(32) 杉本 康希

あ・ら・か・る・とー私の石仏案内
五猿の庚申塔 町田 茂
信仰篤きセキモトの地藏 前川 勲
会員の広場 橘禎男/筒井隆義/
石川博司/加藤和徳

第93回石仏見学会報告
根岸の里の石仏 門間 勇
一泊石仏見学会報告

山梨県の石仏めぐり 門間勇／小島隆司
石仏交流／石仏談話室／コラム
はがき通信 橘禎男／井戸寛

◆富士山文化研究会会報

〒369-0306埼玉県児玉郡上里町三町108-1
中嶋信彰方 TEL0495-71-4850 年4000円

◇35 2012.4 B5 8p

平成24年度総会予定

見学会報告 足利浅間神社

資料紹介 扶桑教機関紙『扶桑

No.474』／富士見に関するパンフ

レット二種／まいにち富士山

佐々木茂良著「富士見」の謎

——一番遠くから富士山が見える

のはどこか？ 田代博著

富士山信仰関係行事 平成24年度

「外川家で富士山学！」の講師

と演題／朝日新聞出版の朝日ビ

ジュアルシリーズ「週刊・日本

の世界遺産」(全25巻)の刊行が

始まる／富士学会十周年シンポ

ジウム

◆昔風と当世風 古々路の会

〒343-0027埼玉県越谷市大房1006-4-410

津山方 TEL048-976-9387 1973年創刊

◇96 2012.4 B5 90p

《愛知県田原市伊良湖・日出地区合同調査

特集》

伊良湖岬のごせんだら祭り 北河 直子

伊良湖・日出地区合同調査を終え

て一調査地概要を兼ねて 今野 大輔

伊良湖町の住まい 宮崎 勝弘

伊良湖散策 早瀬 哲恒

間取り図では読み取れない住居空

間の感覚 森 隆男

伊良湖町と日出町の食から 丸山 久子

海の十字路伊良湖岬 鈴木 秋子

伊良湖の暮らし今昔 谷川 隼也

『三州奥郡風俗図絵』と伊良湖町

の聞き書き 佐志原 圭子

お産の施設化(愛知県・渥美町)一

なぜ姑は「うちで産め」と言わ

なかったのか むらき数子

のぼり湖で行い、粥で祝う建築儀

礼一愛知県田原市伊良湖 津山 正幹

伊良湖地区の生業と漁具(抄) 五十嵐 稔

ニュースから(1)～(6)／合同調査

の報告とお知らせ

明治の小学校(5)

教育勅語と御真影 古川 修文

◆千葉史学 千葉歴史学会

〒263-0022千葉市稲毛区弥生町1-33

千葉大学文学部内 TEL043-251-1111

年4000円 1982創刊

history.l.chiba-u.jp/~chibareki/

◇60 2012.5 A5 219p

『千葉史学』60号の刊行に寄せて 佐藤 博信

会員の期待

千葉歴史学会の「初心」と「構

想」 吉村 武彦

これからの千葉歴史学会に望む

もの 宮原 武夫

千葉県と房総 峰岸 純夫

「場」としての千葉歴史学会一

これからの千葉歴史学会へ望

むもの 青木 祐一

今後の千葉歴史学会への期待を

こめて一自治体史編さん担当

者・地域史を学ぶ者の立場か

ら 土佐 博文

模範村源村の研究について 矢嶋 毅之

“3・11”と歴史学 南塚 信吾

これからの千葉歴史学会への望

むもの一温故知新の時 綿貫登美子

下総国香取神郡の諸相 有富由紀子

その後の「杉山城問題」

一諸説に接して 竹井 英文

江戸の橋とその費用負担一近世の

都市行政における社会基盤整備

あり方 若山 太良

虚無僧と地域社会一京都明暗寺と

丹後田辺藩領の場合 長谷川佳澄

地方における国防婦人会の設立と

活動一千葉県の事例から 池田 順

近代千葉における中国留学生と海

水浴体験 見城 悌治

研究ノート

初期の上総武田氏をめぐって 黒田 基樹

18世紀出羽庄内藩における家中

奉公人徴収制度の展開 佐藤正三郎

近世フランス国際商業港ナント

研究の展望 大峰 真理

千葉歴史学会へ望む

最近の京浜歴史科学研究会の活

動 京浜歴史科学研究会

千葉県の歴史教育と千葉歴史学

会 千葉県高等学校教育研究会歴史部会

信濃史学会の活動状況

信濃史学会委員長 山浦 寿

千葉歴史学会創立30周年によせ

て 東京湾学会理事長 高橋 克

設立20周年を迎えた利根川文化

研究会

利根川文化研究会常任委員 川名 禎

新刊紹介 地方史研究協議会編

『北総地域の水辺と台風一生活

空間の歴史的変容一』 岩本 和恵

震災レポート「千葉歴史・自然

資料救済ネットワーク」の発足

について 菅原 憲二

◆日本村落自治史料調査研究所研究紀要

〒299-4213千葉県長生郡白子町八斗16-1

川村優方 TEL0475-33-5582

◇16 2012.4 A5 42p

歴史書と地誌についての素描 塚本 学

本県の成立初頭における文化的低

迷性の実態分析の一例一明治

初・中期における就学率の動向

と二先学の文化的評価をめぐつ

て 川村 優

丸山二郎先生の偉業を称える 川村 優

研究余滴

日蓮宗不受不施派に思うこと 鈴木 庄一

東上総における鎌倉期真言律宗

諸寺について 小高 春雄

回顧と展望 昭和40年代初頭にお

ける未来学の構想と成果から 川村 優

房総書誌題目(3)一「地方史研究」

新刊案内から 井上 隆男

◆房総の郷土史

千葉県郷土史研究連絡協議会

〒260-0855千葉市中央区市場町11-1

千葉県立中央図書館内 TEL043-222-0116

年4500円 1974年創刊

◇40 2012.5 A5 108p

《創立40周年記念特集号》

口絵写真 百尺観音 片岡 伸

郷土研アルバム 総会・史跡探訪

・研究発表大会 事務局

祝 辞

四十年を祝って 森田 健作

四十年を回顧して 川村 優

巻頭言 創立四十年に想う 樋口誠太郎

近況寸言

我が家の今昔 松井 清子

夫と歩んだ「郷土史研究」の道

を追って 野口 美江

随想雑感	宇井 弘
心に残る思い出	生稲 謹爾
わが町に相撲がある	海上 義治
地域風土記の編集に期待—成功した、銚子市海上地区の事例	
	高森 良昌
卒寿(九十歳)を迎えて	杉田 幸子
随 想	
「房総の郷土史」に寄せて	井上 隆男
房総の小さな歴史十景	松井 安俊
私設「紺屋民俗資料館」	小林 栄一
関寛斎の謎	大塚 喜一
龍の来た道—龍角寺・龍腹寺・龍尾寺 説話の設立について	
	五十嵐行男
特 集	
房総の郷土史十年の執筆者一覧	
	事務局
郷土研文化講座・古文書講座	事務局
本会に寄せられた地域の郷土出版物	事務局
事務局関係 第39回郷土研総会・議案並びに議事	事務局
研究ノート	
大多和與四郎の功績	秋谷 忍
先人に学ぶ—濱口梧陵と宮負定雄の事績	繪鳩 昌之
二十四孝彫刻と実語教童子について	村上 昭彦
房総農民歌人の系譜	秋葉 輝夫
論 文	
大原幽学の思想とその生涯	川村 優
明治期における千葉・茨城県境変更事件	錫崎 清治
史跡探訪 上総掘りの里・久留里の史跡を訪ねて	福原 貞夫
事務局関係 研究発表大会開催／平成24年度新会員／寄贈図書・	

文献、新刊紹介「八千代の文人たち—歌碑・句碑を訪ねて—」
「大多和與四郎物語」／平成24年度千葉県郷土史研文化講座・古文書講座 事務局
編集後記 「郷土研」は泥舟に非ず 事務局



*千葉県郷土史研究連絡協議会は、同県における、「歴史・考古・風俗・地誌その他郷土史を研究する団体や個人が緊密に連携して郷土の研究調査を推進し、広い視野に立って地方文化の向上に寄与することを目的」として活動を続けている。1972年3月の創設で、この度40周年を迎えた。過去16年に亘って会長職にあった現顧問の川村優氏によれば、発足後まもなく第二次石油ショックに見舞われ、経済不況の翳りが会の動向にも反映されたとのことである。さらに、全国的な傾向であるが、会員の高齢化と新規若年層の入会低調という事態などから、存続の危機もあったが、役員資金醸出をはじめ、様々な努力、血のにじむような熱情によって乗り越えてきたとのこと、誠に頭の下がる想いである。平成24年度に入会した新会員47名、賛助会員35名というのも驚きである。毎年度10回程度の文化講座、古文書講座を継続するなど、房総の歴史研究に中心的な役割を果たしていることに

敬意を表したい。

◆アーカイブズ

独立行政法人国立公文書館
〒102-0091東京都千代田区北の丸公園3-2
TEL03-3214-0621 www.archives.go.jp
◇47 2012.6 A4 57p
カラーグラビア
特別寄稿
公文書管理法の意義と課題—東日本大震災における事例を踏まえて 武川 光夫
東日本大震災に対応するために設置された会議等の議事内容の記録の未作成事案について—の原因分析及び改善策取りまじめについて 村上 耕司
〈特集 歴史公文書等の利用の在り方について—平成23年度アーカイブズ研修Ⅱグループ討論等より〉
平成23年度アーカイブズ研修Ⅱについて
歴史公文書等の利用に係る規則等について 吉田 徹也
歴史公文書等の利用制限に係る審査基準について 宮間 純一
歴史公文書等に関する情報提供について 白石 仁章
歴史公文書等の利用促進に向けた普及活動 松浦勉／嶋田典人
被災公文書等修復支援事業について 朝倉 亮
電子公文書等移管・保存・利用システムについて 風間 吉之
島根県公文書センターの開所について 岩崎 健児
開館1周年をむかえる三豊市文書館 宮田 克成

板橋区公文書の活動と姿勢 西 光三
ICA—人類のアーカイブズ遺産の保存と利用を推進する国際機関 小原由美子

◆赤米ニュース 東京赤米研究会
〒186-0005東京都国立市西3-7-29 アゼリア国立Ⅱ101 長沢方 TEL042-577-6855
◇181 2012.4 B5 8p
2012年版赤米栽培マニュアル
4月の赤米作り
佐賀県のとうほし田・たいとう田 菅野 郁雄
赤米雑話(137)
81 石川県の赤米・つづき 長沢 利明
◇182 2012.5 B5 8p
2012年版赤米栽培マニュアル
5月の赤米作り
長崎県のとうほし田・たいとう田 菅野 郁雄
赤米雑話(138)
81 石川県の赤米・つづき 長沢 利明
◇183 2012.6 B5 8p
2012年版赤米栽培マニュアル
6月の赤米作り
熊本県のとうほし田・たいとう田 菅野 郁雄
赤米雑話(139)
81 石川県の赤米・つづき 長沢 利明
表紙解説 翼の消えた竜
◇184 2012.7 B5 8p
2012年版赤米栽培マニュアル
7月の赤米作り
岡山県国司神社 赤米栽培記 菅野 郁雄
赤米雑話(140)
81 石川県の赤米・つづき 長沢 利明
表紙解説 敦煌の竜

◆足立区立郷土博物館だより

〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
TEL03-3620-9393 1996年創刊
www.city.adachi.tokyo.jp/003/d10100156.html

◇62 2012.4 A4 4p

《区制80周年記念特集号》

平成24年度の展示のお知らせ 区制80周年記念特別展 足立の仏像—ほとけがつなく足立の歴史 10月20日(土)～12月9日(日)

区制80周年記念企画展 タイムスリップ・昭和家電—増田健一コレクション

区制80周年記念収蔵資料展 浮世絵と近代版画・橋一人と水辺の80景／あだちの古文書大研究 春季区民教養講座／郷土芸能鑑賞会／博物館の図書利用／博物館の映画会

区制80周年記念企画展 幕末・明治の千住の美術—村越其栄・向栄父子と高橋廣湖

常設展示が変わります！ 手彫り麻雀牌と工具／セルロイド製品金型

◆足立史談

足立区教育委員会足立史談編集局
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇532 2012.6 A4 4p

描かれた「のんどりとした暗碧」—伊藤孝之の新版画「小臺の渡」

多田 文夫

寺院調査レポート(1)

日本の寺院と鏡 復元都営住宅のモノ語り(7)

楯山 満照

松下 電気洗濯機の巻

増田 健一

郷土博物館の区制80周年記念事業

企画展「タイムスリップ・昭和家電—増田健一コレクション」／特別展「足立の仏像—ほとけがつなく足立の歴史—」

経過報告 花畑の遺跡の試掘 編集担当

◇533 2012.7 A4 4p

寺院調査レポート(2) 細井家経蔵釈迦三像—足立区にも現存した清涼寺式釈迦如来像

真田 尊光

東京東郊の映画館(1)—都市化のあゆみと映画館の分布

豊田 啓孝

「東都三十六景 関屋のさと」に描かれた場所

山野 健一

◆足立史談会だより

〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇291 2012.6 A4 4p

区民教養講座「尾形乾山の作品と関東での暮らし」講師：住友慎一先生／区民研究発表会 発表者募集／史談大学講義録／荒川堤の桜

コラム教育史料 終戦直後の日本の教育(124) 新教育指針 第一部 後編 新日本教育の原点

堀川 和夫

足立史談カルタ紹介

「れ」霊木ついた熊の木札

千住の町—西と東

長島 弘二

常東地区の想いで

吉田千伊知

新しい町の古い歴史

(矢沢)

◇291別冊 2012.6 A4 4p

千住常東探訪から 東京電機大学のこと／その他の見学場所のこと

竹内秀夫編『新聞官報に見る足

立・大正時代』から 大正十一年七月・森鷗外

足立区郷土史料刊行会 刊行物案内

◇292 2012.7 A4 8p

区民研究発表会／区民教養講座

7月8日 乾山下向と佐野での作陶／鷗外生誕百五十年墓前祭

7月9日 鷗外を篤く語る懇談会／夏の史談会行事案内

コラム教育史料 終戦直後の日本の教育(125) 新教育指針 第一部 後編 新日本教育の原点

第六章 芸能文化の振興／第七章 勤労教育の革新

堀川 和夫

足立史談カルタ紹介

「そ」草加は次の宿場町

移り変わりのはげしさ

千住常東地区探訪の感想

加藤 新助

6月探訪 万葉の里 市川真間から野菊の墓文学碑 矢切りへ

市川・国府台界隈探訪に参加して

伊藤 博

変貌激しい千住の町

堀川 和夫

千住常東地区を訪ねて

鈴木 道夫

押部八幡神社奉納 明治41年『鯨生捕記念』絵馬』と当時の関連新聞記事抜粋

竹内秀夫編『新聞官報に見る足立・大正時代』から引用

レンガ遺構調査 5月19日(土)

宮城 大正8年築／6月23日(土)

新田 大正6年築

市川真間探訪に寄せて

万葉集 市川真間を詠った歌

◆あるむぜお

府中市文化振興財団府中市郷土の森博物館
〒183-0026東京都府中市南町6-32

TEL042-368-7921 1987年創刊

www.fuchu-cpf.or.jp/museum/

◇100 2012.6 A4 10p

年中行事の現在 in 府中(1) 盆行事 市内若松町の盆飾り(2009年8月1日撮影)

年中行事の現在 in 府中(1)

盆行事 展示会案内 あしもとネイチャー

佐藤 智敬

ワールド 展示で楽しむ里山どうぶつ探検 2012/7/21(土)～9/2(日)

中村 武史

展示会案内 企画展 ANZAI-SHO 行在所—田中三四郎家と明治天皇 7月14日(土)～10月8日(祝)

花木 知子

最近の発掘調査 中世の古道に立

つ板碑の発掘 美好町三丁目 西野 善勝

NOTE 見た！感じた！金環日食2012 本間 隆幸 知る人ぞ知る！府中ゆかりの人物

(5) 浅野長政 深澤 靖幸

平成23年度寄贈・寄託資料一覧／平成23年度利用状況

町にまつわる雑学講座—四谷 花木 知子

◆板橋史談 板橋史談会

〒174-0076東京都板橋区上板橋2-30-7-104
TEL03-5398-2682 1966年創刊

◇270 2012.5 A5 25p

寄稿 赤塚三畝院(坊)の中世石造物—在銘の「宝篋印塔」と「夜

念仏板碑」の残欠から 加藤 和徳 日蓮と須田五郎時光物語 成澤 誠司

写真ニュース(24) 平成23年度板

橋区指定・登録文化財が決定 井上 富夫 ひろば 新河岸川 猪瀬 尚志

◆奥武蔵

奥武蔵研究会
〒169-0075東京都新宿区高田馬場2-10-12
加藤恒彦方
◇385 2012.5 B5 27p
魔のメイストーム 加藤 恒彦
猪と猪猟の話 藤本 一美
親父とイノシシものがたり 小泉 重光
奥武蔵、秩父の獅子舞(40)
一津久根八幡の舞 関口 洋介
越生町の三角点 町田 尚夫
カラ沢の『はなにた』 吉田美知子
山行報告
◇386 2012.7 B5 29p
新しい山行に向けて 加藤 恒彦
「飯能アルプス」が跋扈するか!? 藤本 一美
山の神・小瀬田峠 酒井 昌樹
日本水準原点の内部公開見学記 町田 尚夫
奥武蔵、秩父の獅子舞(41)
一長留の御殿ザサラ 関口 洋介
山行報告

◆季刊 Collegio 之 潮

〒185-0021東京都国分寺市南町2-18-3-505
TEL042-328-1503 2005年創刊
www.collegio.jp
◇48 2012.4 B6 56p 300円
ペリー艦隊が見た地形(6)
横浜周辺(2) 松田 磐余
Tokyo Stream(1) 甲斐啓二郎
フランス古地図音楽散歩(30)
レ・アール 関根 敏子
小形図紹介(11)
信達三十三ヶ所札所略図 山下 和正
東京電車線路物語(25)
赤電・青電 井口 悦男
中西悟堂を歩く(26)
小石川後楽園 西村 眞一

借景公園ができていた 田中 正大
縄文遺跡と地形 新宿区目白学園
構内(落合遺跡) 安孫子昭二
『学習参考書地理学的発見の歴史』
について(8) 佐々木路子

◆北区史を考える会会報

〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10 大澤
栄美方 TEL03-3907-0040 1986年創刊
◇104 2012.5 B5 8p
第350回月例研究会 2月26日(日)
堀船地区座談会 馬場 永子
堀船の田中煉瓦は、関東地方で最
古の民間煉瓦工場である 八木 司郎
第352回月例研究会 4月7日(土)
江北の五色桜を訪ねる 林 健一
第351回月例研究会 3月10日(土)
北区内の河川と水神様 齋藤 要

◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会

〒160-0012東京都新宿区南元町13-7
TEL03-3355-4188
◇184 2012.5 B4 8p
一般社団法人儀礼文化学会発足
第32回春季大会公演より 宮城
県牡鹿郡女川町 小乗浜の獅子
振り 久保田裕道
一般社団法人として新たなスター
ト 社員総会開催 会長・顧
問・役員人事決まる／第1回定
時社員総会報告／理事会報告
一般社団法人儀礼文化学会
会長・顧問・役員・社員ご芳名
門出の春季大会 勇壮な獅子と共
に 平成24年度春季大会
会長式辞 中島誠太郎
理事長挨拶 社団法人化の抱負
倉林 正次

催し 小乗浜の獅子振り
出演・小乗浜実業団の皆さん
和やかに賑やかに歓宴
翌日は明治神宮で奉納
月ごとの歳時 渡辺良正の祭スケ
ッチ 6月・7月 高野山の青葉
祭り／潮かけ祭り(大島祭り)
レポート
儀礼文化講座 3月11日(日)
儀礼文化論「儀礼文化とは何
か」國學院大學名誉教授 倉
林正次 佐々木 寛
儀礼文化セミナー 3月9日(金)
神道「鹿島神宮祭頭祭参観」久保田裕道
儀礼文化教室 3月14日(水)
「日本の建築と東アジア」元
東京大学教授 酒井信彦 佐々木 寛
宗教法人と税金(1) 法人税 ろ
うそくを売るのは収益事業? 空本 光弘

◆交通史研究

交通史学会(発売:吉川弘文館)
〒365-0023埼玉県鴻巣市笠原1435-1
波田野富信気付 1976年創刊
www.soc.nii.ac.jp/jstc/
◇77 2012.4 A5 68p
遠州中泉代官竹垣庄蔵による文政
の宿駅改革 橋 敏夫
日本統治期台湾における小運送業
の成立について 斎藤 尚文
研究ノート
大正期の自転車卸売業界 谷田貝一郎
書評 杉江進著『近世琵琶湖水運
の研究』 八杉 淳
新刊紹介 石井幸孝著『戦中・戦
後の鉄道—激動十五年間のドラ
マー』 丸山 雍成
展覧会情報

◆杉並郷土史会史報

〒167-0022東京都杉並区下井草3-12-9
新村康敏方 1973年創刊
www.sugi-chiiki.com/rekishikai/
◇233 2012.5 A4 8p 400円
道しるべを思う 稲神 和子
都市近郊村の諸問題(3)
一武蔵国豊嶋郡角筈村 速水 融
寛保三年 堀之内村の狼騒動 原田 弘
亀戸七福神めぐり
1月6日 35名参加
私の本棚から(44)「中山道しる
べの旅」稲神和子著 柏書房 新村康都市
◆すみだ川 隅田川市民交流実行委員会
〒111-0042東京都台東区寿2-9-9 北村国男
方 TEL03-3844-2008 1987年創刊
ce.it-chiba.ac.jp/shinoda/
◇51 2012.4 A4 20p
はじめに 21世紀の隅田川 岡部 恒雄
隅田川市民サミット創立25周年記
念シンポジウム 大江戸東京・
空の木の下(東京スカイツリー)
一どうなる舟運 沼尻 重男
台東区の洪水と荒川放水路 熊木 寿夫
隅田川大学公開講座セミナー 東
日本震災後の水辺環境・環境教
育 水と緑の国 日本 講師:
富山和子氏 篠田 裕
T P P 議論に思うこと 秋吉 祐子
隅田川大学公開講座 文化実践講
座2 隅田川を歩いて俳句を創
ろう 講師:岡部恒雄氏
隅田川大学公開講座 フィールド
ワーク(FW)20 実施報告「東
京スカイツリー周辺の新しい文
化・観光スポットを探る」講
師:高橋佑司氏 糸井 守

佐藤武レポート 隅田川の放射能
その対策はどうか 佐藤 武
交流コーナー

第8回四万十町展開催 in 隅田川
公園リバーサイドギャラリー
美しい森や水と生きるまち 渋谷 法人
東京四万十会 松本 四郎
隅田川テラス花壇のお世話 喜納 稔
「神田川ネットワーク」の紹介 糸井 守
第28回鮭の稚魚放流会 小木曾淑子
会員便り

水都大江戸の再生 猪狩 達夫
荒川(隅田川)の水量を思う 馬場 永子
クリスマス・イヴのスカイツリ
— 鈴木 俊一
寄贈された刊行物／活動記録
2011年度(平成23年)(下期)

◆西郊民俗 西郊民俗談話会
〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1
大島方 年2000円 1957年創刊
www11.ocn.ne.jp/~oinari/
◇219 2012.6 B5 33p

川之浜の盆行事
—新仏の供養を中心として 石垣 悟
家伝の呪符 大島 建彦
—砺波夜高祭の事例報告 萱岡 雅光
大阪の天狗像(上)—昔話・伝説・
世間話からの考察 高橋 成
狛江市の生業覚書(2) 長沢 利明

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会
〒157-0061東京都世田谷区北烏山2-3-9-101
光田憲雄 TEL03-3307-2146
www.k5.dion.ne.jp/~daidoge/
◇240 2012.6 A4 2p 100円
江戸の珍商売(生業)

大締一代記(25) (原作)藤本甲南
／(著作)光田憲雄
◇241 2012.7 A4 2p 100円
随筆に見る江戸の珍商5(生業)
大締一代記(26) (原作)藤本甲南
／(著作)光田憲雄

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団
〒186-8686東京都国立市中1-9-52
TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊
www.tamashin.or.jp

◇146 2012.5 A5 140p
ごあいさつ 佐藤 浩二
《特集 多摩の縄文後晩期遺跡》
縄文後晩期の特色と多摩の遺跡
—環境の変化と祭祀の盛行 和田 哲
東村山山下宅部遺跡と北川流域遺
跡群 千葉 敏朗

多摩川流域の縄文時代後・晩期の
遺跡—喜代沢遺跡と寺改戸遺跡
を中心として 伊藤 博司
日野市南広間地遺跡—後期から晩
期末まで続いた川べりのムラ 和田 哲
野川流域の遺跡—府中市武蔵野公
園遺跡、小金井市武蔵野公園低
湿地遺跡、野川中洲北遺跡他 中山 真治
あきる野市中高瀬遺跡 林 克彦
町田市なすな原遺跡 戸田 哲也
洋風建築への誘い(35) イエズス
会石神井修道院 旧黙想の家 伊藤 龍也
建物随想記(29) 回想のある修道
院—旧東京黙想の家 酒井 哲
古文書は語る(33) 柴田勝家の兜
奉納とその伝承—春清寺文書
「柴田勝家位牌奉安添状」より 馬場 憲一
多摩の食文化誌(7) 「煮る・炊く」
論争と多摩の米事情 増田 昭子
多摩のみほとけ(9) 町田市野津

田葉師堂 薬師如来坐像 齊藤 経生
本の紹介
清瀬市郷土博物館編『うちおり
—清瀬市及び周辺地域の自家
製織物—』 村野 圭市
杉並区立郷土博物館編『特別展
将軍家の鷹場と杉並』 蛭田 晶子
外山徹著『武州高雄山の歴史と
信仰』 西村 敏也
まちの情報ハブ・図書館(9)
府中市立図書館 渡邊 正路
稲城市立図書館 大山 礼子

◆東方宗教 日本道教会
〒112-8606東京都文京区白山5-28-20
東洋大学文学部 山田利明研究室内
TEL03-3945-7363 www.taoistic-research.jp

◇119 2012.5 A5 115+4p 2800円
『悟真篇註疏』翁葆光注の煉丹理
論—彭曉における「先天の氣」
を手がかりとして 江波戸 互
地方における雷法の形成—「邵陽
火車五雷大法」を中心に 酒井 規史
『観世音十大願經』と『観世音佛』 倉本 尚徳
臺灣北部正一道士の超薦 陳儷瓊／松本浩一
ビジュアルな『道教の世界』を讀
む 砂山 稔
廣田律子著『中國民間祭祀藝能の
研究』 有澤 晶子
第二回東亞道文化国際學術検討會
二ノ宮 聰
香港道教學院二十周年「道教教育
的理論與實踐」學術検討會 蜂屋 邦夫
秋月觀英先生を偲ぶ 砂山 稔
追悼 楠山春樹先生 土田健次郎

◆日本民俗音楽学会会報
〒190-8520東京都立川市柏町5-5-1

国立音楽大学 山本幸正研究室気付
www.s-jfm.org

◇37 2012.6 B5 28p
第8回民俗音楽研究会のご案内 伊野 義博
第26回日本民俗音楽学会東京大会
のご案内 星野 紘
特集 第1回例会研究発表

平成24年3月17日(土) 東京工業大学
例会がスタートしました 入江 宣子
(1) 内モンゴルの掛け合い歌
—デーリンチャホラポー 娜 布其
(2) 大津絵節の旋律研究 寺田真由美
(3) カンカラ三線の教材として
の可能性について 小林 恭子
(4) 高野辰之の邦楽観
—民謡と演歌を中心に 権藤 敦子
(5) 確率的方法による日本民謡
と中国民謡の特徴比較 河瀬 彰宏
第1回例会の研究発表を聞いて 小島 美子
平成24年度の活動計画について 小野寺節子
東京都目黒区指定無形民俗文化財
「目黒ばやし」講演会 柁原 年
新刊紹介
「阿蘇の神輿歌」松永建著 小島 美子
「わたしのわらべうた—高橋澄
さんのおはなし—」安田実佐
子ほか編 尾原 昭夫
受贈刊行物紹介 会報編集委員会

◆練馬区地名研究会会報
〒176-0014東京都練馬区豊玉南3-24-4
飯塚芳男方 TEL03-3992-0264
年2500円 1987年創刊
◇99 2012.5 B5 4p
第99回例会 考古学的調査から見
た中世の橋戸 栗原 晴夫
所沢で類型地名を考える(2) 後藤 光

◆民衆史研究 民衆史研究会

〒162-8644東京都新宿区戸山1-24-1
早稲田大学文学部 大日方研究室内
1962年創刊

◇83 2012.5 B5 54p 1500円

《特集 近世琉球における民衆と社会》

特集にあたって 民衆史研究会委員会
近世琉球の村・耕地・生業 得能 壽美
近世琉球における民衆と社会

コメント 深谷 克己
シンポジウム討論要旨

近江国奥嶋荘・津田荘・大嶋奥津
嶋神社にみる「惣」と各集落 若林 隆一
書評 黒川みどり著『描かれた被
差別部落—映画の中の自画像と
他者像』 友常 勉
展示会短評 成田空港 空と大地
の歴史館常設展 森谷 元

◆昔話伝説研究 昔話伝説研究会

〒150-0011東京都渋谷区東4-10-28
国學院大學文学部 花部英雄研究室
TEL03-5466-0224 1971年創刊
mukaden.tiyogami.com

◇31 2012.4 A5 102p

“避けるべき昔話”「俵薬師」の人
間像 中村とも子
山形県の「牛方山姥」考
—積荷と交易の関係 関根 綾子
身体伝承の研究—「路傍の怪」に
みる足元・背後 三柴 友太
昔話「給女房」の一考察 五十嵐大晃
猫の葬法について 高橋奈津子
報告 山田家の日常 宮城県東松
島市野蒜字亀岡の民俗 山田 栄克
新刊紹介
野上千恵子・堀之内裕子・小熊
延幸編『ミヨキさんのざっと

昔』 伊藤 龍平
米屋陽一編著『上野窪ムラばな
し百話 米屋トモエ・聴き書
き』 内藤 久義

◆武蔵保谷村だより 高橋文太郎の『武蔵保

谷村郷土資料』を手掛かりに
下保谷の自然と文化を語る会
〒202-0004東京都西東京市下保谷3-18-3
高田賢方 TEL042-478-3820 2011年創刊

◇5 2012.4 A4 20p

保谷を訪ねて 木村 裕樹
自然(気象) 保谷でカッコウの鳴
き声を聞いた日—過去36年間の
記録より 馬場 恒夫
自然と生きる 西東京市の主な屋
敷林(4) 下保谷 小川 武廣
村人と信仰 下保谷のお伊勢講(2)
—明治時代 高橋 孝
西東京市旧下保谷における二つの
民俗調査(4) 最終回—高橋文太
郎と市史編纂委員会による婚姻
習俗調査を例として 高田 賢
清水建設社宅の集会室/西武鉄道
の前身、武蔵野鉄道会社設立
100周年
Columu めぐる春に 亀田 直美

◆明治維新史学会だより

〒154-8525東京都世田谷区駒沢1-23-1
駒澤大学第一研究館 文学部歴史学科
小泉雅弘研究室 2004年創刊
www.ishinshi.jp

◇17 2012.5 B5 10p

2012年度第42回明治維新史学会大
会のご案内
(2012年度第42回明治維新史学会大会
報告要旨)

明治十年代の大名華族の経営と家
政改革—島津家を事例として 寺尾 美保
「芸妓解放令」の公布と近代公
娼制度への道 人見佐知子
神道国教化政策下における神社の
実態—大宮氷川神社と周辺神社
の動向を中心に 徳永 暁
地租改正事務局の基礎的研究
—「東北地方地租改正資料」 滝島 功
元老院の政治史的再検討 久保田 哲
2011年度明治維新史学会秋期大会
記事
(2011年度明治維新史学会秋期大会討論要旨)
水谷憲二氏「戊辰戦争と諸道総督
による地方平定過程—対藩論の
賞罰をめぐる構造的特質—」 町田 明広
高原泉氏「農商建国辨」と「憂
天私言」—一万屋兵四郎の思想的
側面へのアプローチ— 西澤 直子
トルストグゾフ・セルゲイ氏「明
治維新とロシア1917年革命の比
較」 森田 朋子
大会運営委員会だより/例会運営
委員会だより/ホームページ委
員会だより

◆洋学史研究 洋学史研究会

〒116-0014東京都荒川区東日暮里3-12-17
松本英治方 TEL03-3891-6482

年5000円 1984年創刊

◇29 2012.4 A5 62p

勝海舟の『蚊鳴餘言』 片桐 一男
『英和対訳袖珍辞書』の編纂課程
の考察 三好 彰
書評 笠谷和比古編『一八世紀日
本の文化状況と国際環境』 塚越 俊志

◆厚木市史たより

〒243-0018神奈川県厚木市中町3-17-17
厚木市教育委員会文化財保護課
TEL046-225-2060 2010年創刊

◇5 2012.4 A4 4p

七沢の“ロクヤサン” 石川鹿奈子
新しく生み出される民俗 落合 清春
近世資料編を読むために(3)
一番古い年貢関係文書など 神崎 彰利

◆小田原地方史研究 小田原地方史研究会

〒250-0011神奈川県小田原市栄町3-13-21
井上弘方 TEL0465-22-5862 1969年創刊

◇26 2012.5 B5 86p 950円

北条氏による鉄砲衆の編成 梯 弘人
家網政権の儉約政治
—稲葉正則と林家 下重 清
伊豆韮山の報徳仕法と「報徳」ネ
ットワーク 松尾 公就
小田原における防空訓練 井上 弘
研究ノート 武蔵・相模国におけ
る石橋供養塔の造立を支えた人
びと 津田 守一
資料紹介 天保5年小田原藩領に
おける韮山金の永年賦嘆願につ
いて 荒木 仁朗
研究会活動報告

◆郷土誌 葉山 葉山郷土史研究会

〒240-0112神奈川県三浦郡葉山町堀内1874
NPO法人葉山まちづくり協会内
TEL046-876-0421 2004年創刊

◇9 2012.4 B5 112p 900円

はじめに 濱岡 辰紀
《特集 続・一色》
平安時代の製塩遺跡、平成8年三
十大祭、町内会区分図、江戸
時代の森山神社絵図、葉山御用

邸、葉山警察署、商店絵図、葉山全図に見る一色、明治・大正・昭和の写真 編集部
 一色の地名 鶴 泰
 「一色」考 伊藤 一美
 一色の屋号と家紋 今井 俊夫
 良弁勸請 森山神社の古代神事 黒田 康子
 森山社「世計神事」と「三十三年祭」 守谷 弘
 平安時代の「製塩工場」葉山で発見 松元 岑夫
 「三ヶ岡遺跡」にみる製塩遺構・再考 軽部 一一
 一色にあった「谷戸の旧家」 石渡 清吉
 一色・打鯨と御用邸前道路に纏わること 葉山 登吉
 「相州葉山一色木遺保存会」の現況 寺山ルリ子
 チョロケン搗きについて 鈴木 寅治
 一色地区の浦賀道はどこを通ったか 鈴木 雅子
 最近まであった一色「八店」商店周辺の変遷 田中繁/田中和子
 一色の官家・華族の別荘 池田 京子
 大峰山（三ヶ岡）と修験道 高城 通教
 「平松地蔵」について 寺山ルリ子
 創作民話
 一色三ヶ岡の「石芋井戸」 山本 貫恭
 葉山一色村の富士講 鳥居 信吉
 御用邸を巡る文学作品 鈴木 雅子
 古文書部会
 古文書部会活動報告 濱岡 辰紀
 古文書に見る一色村 濱岡 辰紀
 一色村の古文書あれこれ 滝本 誠一
 葉山にのこる海防関係資料について 内藤 範子
 平成23年度整理文書目録 古文書部会
 「葉山郷土史研究会」の紹介

一平成23年度活動報告 事務局
 コラム 玉蔵院境内の宝篋印塔 本多 清法
 「突渡岬」(現芝崎周辺)の変貌 鳥居 信吉
 井上毅と金子堅太郎の別荘 黒田 康子
 地蔵磯のお地蔵様 秋元 しづ
 田島繁二さんのこと
 一葉山町に住んだひと 内海 孝
 舞台にも使える「一色会館」 鈴木 雅子
 築100年を迎えるわが家 鈴木 武
 芝崎の七井戸 鈴木 勝巳

◆クロス 常民文化研究会
 〒254-0016神奈川県平塚市東八幡2-8-20
 西海賢二方 年1000円 1979年創刊
 ◇129 2012.5 B5 6p
 江戸・東京・東京の祭礼に見る近代化—江戸らしさの祭りから 西海 賢二

◆玉縄城まちだより
 玉縄城址まちづくり会議 荒井章
 TEL0467-45-7411 2007年創刊 年1200円
 www.48.tok2.com/home/tamanawajyo/
 ◇10 2012.5 A4 4p
 玉縄城フィールドミュージアムへ植木第1号市民緑地誕生
 インタビュー—玉縄万華鏡 戸部
 橋から玉縄城へ 竹林の北條邸
 北條美智留さん
 玉縄城築城500年祭のみどころ—玉縄城を偲ぶコース その2
 七曲坂から太鼓櫓址
 玉縄城築城500年祭を祝して 鎌倉市長 松尾崇
 歴史シリーズ(10)
 玉縄城主 北条氏勝
 玉縄思い出写真館 北條秀司さん
 とご家族 昭和28年(1953年)頃の柏尾川河畔

「玉縄城址まちづくり会議」の活動／行事案内／七曲坂の野草(4)「シャガ」

◆日本地名研究所通信
 〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10
 川崎市生活文化会館4階 TEL044-812-1191
 1993年創刊 www.8.ocn.ne.jp/~timeiken/
 ◇74 2012.5 B5 6p
 地名の警告 谷川 健一
 現地を確かめる 久野 啓介
 災害と地名 太宰 幸子
 第31回全国地名研究者大会「災害と地名」
 全国地名研究者大会 三浦半島探訪のみどころ 三浦半島の古代・中世/中世の三浦半島
 蛇 喰 長谷川 勲
 長岡周辺の災害関連地名 若月 紘一
 「アンバサマ」の話 桐井 聡男

◆扣之帳 扣之帳刊行会
 〒250-0021神奈川県小田原市早川60
 青木良一方 TEL0465-22-8852
 年2500円 2003年創刊
 hikaenochou.world.coocan.jp/mysite/
 ◇36 2012.6 A5 92p 500円
 正法眼蔵講義余韻(1)
 私の禅解釈は独学です 佐橋 法龍
 「先代萩」と乳母政岡 今川 徳子
 早川溪谷の釣り
 一在日朝鮮人級友の思い出 佐宗 欣二
 酒匂だより「蝶」 町田紀美子
 ボクの映画館(16) 天才スピルバ
 ーグの出世作「ジョーズ」 平倉 正
 桜町仕法はなぜ継続されたのか(1) 尾上 武
 わが詩をよみて人死に就けり
 一高村光太郎の戦争詩 村山 精二

箱根関所復元に関して 中村 静夫
 足柄を散策する(16)
 文学遺跡を尋ねて 余談 杉山 博久
 歌舞伎を彩った人々(8)
 坂東三津五郎三代 田中 豊
 爺じい日記 岡崎 伯
 箱根山の鱒 西田 清三
 「飯泉十一面観世音御縁起概誌」 浅田 靈鳳
 亀右衛門咄(12)
 田んぼのお年貢 青木 良一
 わが愛する明恵上人(補) 茂木 光春

◆民具マンスリー
 神奈川県日本常民文化研究所
 〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1
 TEL045-481-5661 年3500円 1968年創刊
 ◇531 (45-3) 2012.6 A5 24p 350円
 『会津農書』にみる稲刈りと民俗 佐々木長生
 アチック・ミュージアムの民具コレクション(32) 樋畑雪湖の楊枝コレクション(1) 木村 裕樹
 ◇532 (45-4) 2012.7 A5 24p 350円
 近代鑄物職人の生き方に関する一考察 宇田 哲雄
 資料翻刻「新指定重要民俗資料特別展観」について 近藤 雅樹
 民具短書 来て・見て・楽しんで—神奈川県愛川町郷土資料館の開館に至るまで 山口 研一

中 部

◆高志路 新潟県民俗学会
 〒950-2022新潟市西区小針6-29-1 鶴巻武則方 TEL025-231-6100 1935年創刊
 www.bsnet.co.jp/jiku/minzoku/
 ◇384 2012.5 A5 32p
 『北越雪譜』「熊人を助く」考 井上 慶隆
 道祖神信仰の歴史—考察(1) 石田 哲彌

近世文書でよむ東蒲原山間村の生
活(1) 18世紀の五十嶋村 中村 義隆
新発田市滝谷新田の百万遍 鶴巻 武則
事務局だより／新発田市滝谷共同
採訪案内／有志見学会案内

◆長岡郷土史 長岡郷土史研究会
〒940-0065新潟県長岡市坂之上町3-1-20
長岡市立中央図書館文書資料室内
TEL0258-36-7832 年3500円 1960年創刊

◇49 2012.5 B5 175p
上杉謙信旗揚げの城
栃尾城跡について 鳴海 忠夫
最後の飯沼氏 飯沼頼清考—その
伝承と与板衆高梨氏の関わり 柳沼 稔
出雲の神在祭に共通する蔵王堂の
王神祭 鰐淵 好輝
天明の飢きんと長岡の蔵王権現領
田所 和雄

文政期長岡藩にみる急才覚金の借
入形態 本山 幸一
越後・長岡の和算(数学)の歴史(2)
石田 哲彌

『河井継之助傳』と曾祖父「肥田
野畏三郎」(4)—北越戊辰戦争の
草莽隊(下) 吉崎こずえ
大歓迎に湧いた明治天皇北陸御巡
幸(2) 小片 莊平
北越機械工業株式会社について 内山 弘
撰田屋とその先駆者 川上栄太郎

小林 芳郎
坂牧善辰と漱石・山古志 滝沢 繁
「越路の秋」抄
小金井喜美子の見た長岡(2) 桜井奈穂子

『北越新報』に掲載された長岡大
花火の古写真(前) 長谷川健一
長岡市牛ヶ島(旧川口町) 古義真
言宗 万覚院の宗教民俗 広井 忠男

長岡市の中心軸・大手通りの形成
と変容の軌跡 森村 道美
巡見報告
地域探訪「柿川の歴史めぐり」田中 洋史
「長岡藩主牧野家の至宝展」・「越
後の大名」展と馬高縄文館を
一日で鑑賞するツアー 東樹 隆一
村上市を訪ねて 大久保紀美恵
開催報告

平成23年度 古文書解説講座 小林 良子
第2回長岡郷土史を読む会 今井 崇
第2回郷土の歴史資料展示会 桜井奈穂子
会務報告／郷土史の窓(1)～(4)

◆新潟史学 新潟史学会
〒950-2102新潟市西区五十嵐二の町8050
新潟大学人文学部史学研究室
TEL025-262-6830 1968年創刊

◇67 2012.5 A5 56p 1000円
16・17世紀におけるメダイの変化
と修道会 齋藤友里恵
木村家『実業日記』から見る新潟
県岩船地域の養蚕 飯島 康夫
動 向

新潟県立歴史博物館 平成23年
度夏期企画展「越後の大名」浅倉 有子
シンポジウム「遺跡から新潟の
原点」参加記 中林 隆之
新潟大学附属図書館企画展示
「歴史地震を考える—過去か
らのメッセージ—」 田中 洋史
書評・新刊紹介 永澤幸一著『仏
教考古学と地域史研究—中世人
の信仰生活—』 伊藤 啓雄

◆まきの木 巻郷土資料館友の会
〒953-0041新潟市西蒲区巻甲3069-1
TEL025-672-6757 年1500円 1978年創刊

◇96 2012.4 B5 16p
史料紹介
私見「下条巻」について 亀井 功
山添家の祖先について一考 小山 則子
酒の話 笹口 孝明
中之島地域の史跡を巡る旅行に参
加して 江幡 繁
平成23年巻地区学会の動向／郷土
資料館だより

◆北陸石仏の会会報
〒939-1315富山県砺波市太田1770
尾田武雄方 TEL0763-32-2772
年3000円 1993年創刊

◇40 2012.4 A4 6p
富山県立山町宮路・岩峠寺集落の
路傍の石仏たち 尾田 武雄
正間峠の道祖神 平井 一雄
婆珊婆演底主夜神 滝本やすし
例会報告
石の里・小松市の石仏めぐり 松井 兵英
北陸石仏の会 第44回例会のご案内
内 福井市(市街地～西部地区)
の石仏めぐり

◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所
〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145
TEL0265-53-4670 www.city.iida.lg.jp

◇58 2012.6 A4 4p
飯田市教育委員会発行・飯田市歴
史研究所編集 飯田・上飯田の
歴史 橋北・橋南・羽場・丸山・
東野地区の地域史を史料に基づ
いてわかりやすく叙述します。
『飯田・上飯田の歴史』上巻 古
代～近世 白山社の鰐口銘文と
中世の飯田
飯田市歴史研究所2012年度研究計

画 基礎共同研究・基礎研究
第10回飯田市地域史研究集会 地
域と歩む教育の歴史—飯田・下
伊那の学びの場から

◆伊 那 伊那史学会
〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048
TEL0265-22-6017 年5500円

◇1009 (60-6) 2012.6 A5 68p 500円
《今村善興先生追悼号》
口絵 今村善興先生小照

弔 辞 原田 望
今村善興先生を偲ぶ 本多 秀賢
弔 辞 宮澤 恒之
弔 辞 竹内 直樹
今村善興先生を偲んで 小林 薫
弔 辞 三石 久雄
感謝し敬服する今村善興先生 神村 透
今村善興先生と中央道遺跡発掘調
査 岡田 正彦
今村先生・阿島五反田遺跡・阿島
式土器 市澤 英利
今村善興先生ご指導ありがとうございました
ございました 小林 正春
伊那史学会の最長老今村善興先生

今牧 久
今村先生との思い出 市瀬 辰春
今村善興先生と下條村の遺跡 原 董
今村善興先生を偲ぶ 片桐 直夫
今村善興先生を想う 今村 衛
地域づくりの根幹を支えてくれた
今村善興先生 小島 稔
今村善興先生を偲ぶ 代田 一行
今村善興先生を支えた内助 矢澤 道則
若き頃の今村善興先生の思い出 原 直道
今村善興先生の思い出 平沢 豊
先生の思い出 池田 征子
善興叔父と後から死ぬ私 松下 芳紘

今村善興先生の思い出など 橋都 正
 おじいちゃんへ 今村 善隆
 父 善興を偲んで 今村 善紀
 思い出のアルバム
 今村善興 略年表
 今村善興 年次別発掘調査一覧
 今村善興 「伊那」掲載一覧
 座光の臼と如来腰掛石(遺稿) 今村 善興
 飯田・天伯B遺跡の祭祀址 桐原 健



*昨年11月、85歳で逝去された伊那史学会会員、座光寺史学会会長 今村善興氏の追悼号。同氏は昭和2年の生まれで、飯田中学から長野師範学校に学び、25年から59年まで地元の小・中学校で教壇に立った。その傍ら、最初の小学校赴任後すぐに伊久間原遺跡の発掘調査に参加して以来、亡くなった年にも喬木村五反田遺跡の発掘調査行っていた。昭和30年代から急激に拡大した営農団地建設とそれに伴う農道開発工事、また、中央道の建設などにより、遺跡破壊の危機が深まる中で、数え切れないほどの発掘調査に参加し、県教育委員会出向時には、その立場から調査環境の整備に腐心された。まさに生涯を考古学研究、発掘調査に奉げたと言っていいだろう。雑誌「伊那」には、1952年に復刊された時の第一号の寄稿者であり、それを誇りとして、生涯に100回の寄稿を目標としていたが、本号収

録の遺稿も含め103回を数え、見事に宿願を果して旅立たれた。以って冥福を祈りたい。
 ◇1010 (60-7) 2012.7 A5 50p 500円
 口絵 飯田市天然記念物
 桜丸の蚊母樹(いすのき) 牧内 誠
 〈伊那協第14回シンポジウム
 ー伊那谷の風土の多様性ー〉
 伊那谷に発見された根羽火山群 坂本 正夫
 田んぼの生き物たちのいまーイネ
 しか育たない田んぼにしないた
 めに 四方圭一郎
 下伊那の美術館事始めー旧平岡村
 の天龍美術館構想について 鎌倉 貞男
 弥生人の営みと伊那谷の風土 市澤 英利
 今村善興先生を偲んで 林 登美人
 下伊那日録(2007年9月~11月) 寺田 一雄

◆伊那路 上伊那郷土研究会
 〒396-0021長野県伊那市小沢7799-2
 TEL0265-78-6719 年5000円
 ◇665 (56-6) 2012.6 A5 40p 500円
 《自然と人間との関わり特集》
 伊那谷のカラス
 ー民俗の窓を通して(17) 吉田 保晴
 イカルチドリとコチドリの減少 佐々木剛彦
 火山灰から見る上伊那の地層ー伊
 那谷地震断層説の検証
 伊那北高校理数科 荒木香名・土井ゆ
 い・中上絵梨香/指導教諭 中田真也
 災害に強い里山づくりー西春近貝
 附沢に広葉樹の苗木植樹 酒井 卓実
 短歌 破袋大黒柱鬼の首 野溝 直人
 上伊那の蝶(10) ゴイシジミ 中村 寛志
 文化短信 武田信玄狼煙上げ 氣賀澤厚典
 古文書の窓(106) 村人の博奕吟
 味追認村役人口書 清水 満
 師匠の背中(2)より(44) 大足 若林 徹男
 「伊那谷の生んだ彫刻家 中村喜

平展」案内
 ◇666 (56-7) 2012.7 A5 40p 500円
 《井月特集号》
 井月句碑善光寺境内建立の記 宮澤 宏治
 伊那で観る映画「ほかいびと〜伊
 那の井月〜」ー幕末の漂泊俳人
 の足跡を訊ねて 吉原 千晃
 映画「ほかいびと〜伊那の井月〜」
 に寄せられた言葉(1) 井上井月顕彰会
 『井月編 俳諧三部集』から推理
 する「井月と諸国の俳人たちの
 交流」 翁 悦治
 「はいかい僧 中書を訪ね」その後
 下平 道子
 『井月の句集』刊行の背景 下島 大輔
 門下生 井月を慕う 矢島 太郎
 上伊那の蝶(11)
 クロミドリシジミ 中村 寛志
 文化短信 改訂版『駒ヶ根市の文
 化財』発刊なる 田中 清文
 考古あれこれ(17) 長野県中央道
 遺跡調査会飯島班のことなど 丸山敵一郎
 師匠の背中(2)より(45)
 千社参り 若林 徹男

◆伊那民俗
 柳田国男記念伊那民俗学研究所
 〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
 飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118
 年3000円 1990年創刊
 ◇89 2012.6 B5 8p
 松川入にて『主婦の友』1962年2
 月号/桜井利幸家全景と冬の松
 川入の山々 松上 清志
 徒めぐりの断層 野本 寛一
 柳田国男の『信州随筆』フィール
 ドワーク 北信濃の枝垂れ桜を
 訪ねて 宮下 英美

伊那近代思想史研究会(32) 産業
 組合に対する森本州平と柳田國
 男の思い 和田 憲
 「福田アジオ新所長と歩む、民俗
 学の発信基地へ」ー2012柳田國
 男記念伊那民俗学研究所総会・
 記念講演会を開催 高橋 寛治
 研究所部会活動案内

◆信濃 信濃史学会
 〒390-0805長野県松本市清水1-9-607
 TEL0263-36-1785 年8400円
 www.shinano-shigakukai.jp
 ◇749 (64-6) 2012.6 A5 84p 900円
 《隣県特集号
 隣県地方史学界の動向ー平成23年(2011)》
 岐阜県地方史研究の動向 村瀬 泰啓
 埼玉県地方史研究の動向
 石坂俊郎/新井浩文/実松幸男
 富山県地方史研究の動向
 古川知明/松山充宏/尾島志保/森俊
 山梨県地方史研究の動向
 野代恵子/西川広平/高橋修
 新潟県地方史研究の動向
 石原正敏/相沢央/前嶋敏/
 渡部浩二/田邊幹/池田哲夫
 群馬県地方史研究の動向
 深澤敦仁/築瀬大輔/丑木幸男
 長野県地方史研究の動向
 櫻井秀雄/福島正樹/山崎会
 理/田玉徳明/細井雄次郎
 ◇750 (64-7) 2012.7 A5 88p 900円
 信州への関流和算の伝来 小林 博隆
 信濃商業銀行について 原 明芳
 武寧王陵の論理
 ー海を渡った古代日本の思想 柳沢 賢次
 史料紹介 木曾・宮越宿に残る宿
 割絵図をみて一間取り図と職業

図 神村 透
追悼 戸沢充則氏
偉大な教育者だった戸沢充則先
生 宮下 健司
諏訪、井戸尻、地域研究 小林 公明

◆千 曲 ふるさとに学ぶ 東信史学会
〒386-0024長野県上田市大手2-7-13
上小教育会館内 TEL0268-24-2182
年3000円 1974年創刊

◇150 2012.6 A5 70p
浅間山南麓における融雪型火山泥
流と追分宿の発展 江川 良武
戦後の高度経済成長と地方の工業
化(1)―東信地方の場合 野澤 敬
小泉小太郎と畠山重忠
―背景に真言密教が存在する 柳沢 賢次
小池軍医のことば・沖繩戦下の積
徳高女看護隊(1)―糸州壕の解
散 アメリカ軍による救出まで

白田 明
柿崎和泉守景家と一族について 柿崎 庸三
窓(6) 社会科四年生「郷土に伝
わる願い」の学習から 平林 浩
連載講座

古文書解説講座 第143回 寺島 隆史
東信史学会総会記事
地区だより(佐久市・丸子町・坂
城町・更埴市)
扉写真と解説 御影陣屋の正門 金井喜平次

◆長 野 長野郷土史研究会
〒380-0905長野市七瀬南部14-7
TEL026-224-2673 年4000円 1964年創刊
www.janis.or.jp/users/kyodoshi/
◇283 2012.6 A5 48p 500円
口 絵
東御市の祢津東町歌舞伎公演

木内石亭と成沢雲帯 矢羽 勝幸
江戸初期の信濃の美味
―『中山日録』から 中田 敬三
朝陽地区 郷土史研究・文化活動
などからの地域おこしについて
(1) 高原 英男

須坂市上中町法然堂「孝子善之丞
感得御絵伝」絵解き口演までの
経緯 小林 玲子
小林計一郎の原点(11)
渡辺敏先生伝(9) 小林計一郎
講談「真田三代記」(33) 小林 一郎
野見宿禰天穂日命の裔 山樫 ひさ
南禅寺・比叡山
古刹巡礼の旅に参加して 吉岡 昌一

◆長野県民俗の会通信
〒399-7104長野県安曇野市明科七貴6535-5
巻山圭一方 TEL0263-62-6535
年5000円 www.k2.dion.ne.jp/~folklore/

◇229 2012.5 B5 8p
「道祖」表記のこと 倉石 忠彦
彼岸の神送り行事考 三石 稔
第180回例会に参加して 百瀬 将明

◆岐阜市歴史博物館だより
〒500-8003岐阜県岐阜市大宮町2-18-1
岐阜公園内 TEL058-265-0010 1985年創刊

◇80 2012.4 A4 8p
「かあちゃんよんで」安部朱美作
特別展 安部朱美創作人形展「昭
和の家族 きずな」
企画展「タイムスリップ!大むか
しのくらしー岐阜の夜明けー」
加藤栄三・東一記念美術館「栄三・
東一 花の命を描く 花・はな
展」
加藤栄三・東一記念美術館「加藤

栄三・東一 鶴飼を描く」
歴博セレクション「岐阜の伝統工
芸を支える技 摺り込み絵紙」
平成23年度受贈資料
館蔵資料紹介 木造獅子頭 伊奈
並神社所蔵 岐阜県重要文化財

◆静岡県近代史研究会会報
〒432-8011浜松市中区城北3-5-1 静岡大学
情報学部 荒川章二研究室内 年4000円

◇405 2012.6 B5 4p 200円
6月例会レジュメ
自治体史編纂の歴史と地域 入山 洋子
書評 鈴木雅子氏論文『1960年代
の重度神体障害者運動―国立神
体障害センター・医療問題闘争
を事例に』を読む 足立洋一郎
福沢諭吉夫妻の媒酌人島津文三郎 樋口 雄彦

史料目録の紹介 『静岡県松崎町
大沢依田家調査報告書』

◇406 2012.7 B5 4p 200円
7月例会レジュメⅠ 明治10年一揆
後の地域社会と「付ケ火」―熊
本県阿蘇郡から 今村 直樹

7月例会レジュメⅡ 近代日本社会
形成期における報徳運動の特質
足立洋一郎

7月例会レジュメⅢ 明治初年の聴
訟事務―明治政府と松江藩の中
心に 橋本 誠一

◆静岡歴研会報 静岡県歴史研究会
〒422-8045静岡市駿河区西島363-55
篠原旭方 TEL054-286-8659

◇134 2012.6 B5 12p
4月29日(日) 平成24年度総会
5月27日(日) 第96回研究会

松本検氏の「五木の子守唄考」
の概要／篠原旭氏の「静岡市が
設立する歴史博物館に期待する
もの」の概要／望月茂氏の「白
髭神社の謎を探る―祭神サルタ
ヒコを中心に―」の概要
追悼 奥田賢山氏の死を悼む 鈴木 康弘

◆駿 河 駿河郷土史研究会
〒417-0061静岡県富士市伝法66-2
富士市立博物館内 TEL0545-21-3380
1965年創刊

◇66 2012.4 B5 166p
表紙解説 富士川舟運 加藤 昭夫
巻頭言 未来のため古文書救う 加藤 昭夫
吉原宿の伝馬制度と助郷の研究
(2)―助郷側から見た吉原宿の
伝馬制度 渡辺 誠
ディアナ号の側面史

ディアナ号の沈没と神風 加藤 昭夫
戦国時代の古城と砦 高田 國義
満蒙開拓青少年義勇軍富士小隊に
関する資料 加藤 善夫
平清盛と藤原家成の子孫 松葉屋幸則
和算逍遥(1) 渡邊 照好
歌舞伎にみる曾我物語(2) 松野 紀一
各地の善徳寺・善徳寺調査・関係

諸寺―善徳寺考 仁藤宏之助
南麓からみた宝永噴火と地震 和田 嘉夫
和算により蛇籠(円柱)の体積を求
める 高柳 基雄
富士市の伝説「鎧ガ淵」雑感 大友 覚
ふるさと道祖神 松野 紀一

会議(総会・理事会・事務局会議・
各専門部等)の活動報告
総会／理事会／事務局会議 渡辺 政夫
機関誌発行部／研修部／古文書
研究部／宿場研究部／市史研

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市中熱田区神宮1-1-1
TEL052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp

◇234 2012.4 A5 33p

熱田社の和歌と文学(35)―安楽庵
策伝『醒睡笑』の場合 八木意知男
熱田神宮昭和十年献詠祭について 辻村 全弘

◆郷土研究誌みなみ 南知多郷土研究会

〒470-3412愛知県知多郡南知多町大字豊浜
字須佐ヶ丘5 南知多町教育委員会内
TEL0569-65-2880 1966年創刊

◇93 2012.5 A5 80p 500円

豊浜乙方の豊楽座 中村 祥
篠島・長浜石(名古屋城築城・残石)
石橋伊鶴／松本亀男
若者組と寝宿慣行(2)

―篠島を中心として 祖父江みゆき
豊浜・土御前ご遷宮
―新日本紀行「ムラの女神」 相川 成三
「九鬼の来襲」関ヶ原の戦七日前、
知多半島は戦場だった 村田 修
南十字星(3)

ハルマヘラ島従軍記 内田 白花
兵隊(2) 河合いずみ
日本人漂流記

―伊勢湾沿岸の廻船の記録 大岩 隆
横井也有翁 内田 恒助
江戸時代1200kmの大旅行―三井家
文書の「三禪定道中覚帳」「道
中みちやどおしえ」より 永田 久則
言伝て(ことづて) 加藤喜代吉

白山／龍江寺の弁財尊天／こんこ
んぎつねは犬がこわい 南知多
町誌

◆まつり通信 まつり同好会

〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
TEL0567-37-0441 年5000円

◇559 (52-3) 2012.5 B5 8p 600円

新刊紹介 祖霊と精霊の祭場―地
域における民俗宗教の諸相 高
田照世著
群馬・羽場の獅子舞 石川 博司
神戸・長田神社追儺見学記 鷺野 正昭
串間市広野の十五夜行事「もぐら
もち」(2) 三輪 京子

近 畿

◆彦根城博物館だより

〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1
TEL0749-22-6100 1988年創刊

longlife.city.hikone.shiga.jp/museum/

◇97 2012.6 A4 4p

資料紹介
三彩宝相華文五耳壺 当館蔵 奥田 晶子

展示案内 6月～9月 5/18～6/19
展示室1 女の面―井伊家伝来
能面から／テーマ展 6/22～
7/24 展示室1 華麗なる調度
―精宮宜子愛用の品々／テーマ
展 7/27～8/28 展示室1・2
戦陣の装い／テーマ展 8/31～
9/25 展示室1 雅楽器と銘

催し／スケジュール
研究余録 金亀玉鶴 彦根藩城使
役の勤めと「御城使寄合留帳」
の成立 野田 浩子

◆民俗文化 滋賀民俗学会

〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5
TEL0740-36-1414 年4800円 1963年創刊

sigaminzoku.fc2web.com

◇585 2012.6 B5 12p 400円

人類は自然・歴史的環境によって

人生観が変わるものだ 菅沼晃次郎
阿曾津千軒と有漏神社考(後)

―旧伊香郡高月町 長谷川博美
建部伝内賢文をめぐる誤伝・誤説
問題について(1) 中村 武三

湖北三十三観音巡拝(5)
―高月・宇根・西阿閉 馬場杉右衛門
井伊大老と長野主膳(2)

―志賀谷の弘尚館 馬場杉右衛門
生水(しょうず)の郷「針江」で聞
いたこと―滋賀県高島市 柏測 宏昭

外来魚の回収箱について 柏測 宏昭
滋賀の石造文化財(中世)の概観に
ついて(24) 福澤 邦夫

講師 旭堂南陵(二代目)の聞き
書き一代記(14) 菅沼晃次郎
◇586 2012.7 B5 12p 400円

棺を打つ民俗について 関 啓司
建部伝内賢文をめぐる誤伝・誤説
問題について(2) 中村 武三

湖北三十三観音巡拝(6)
―北布施・大音・西黒田 馬場杉右衛門
井伊大老と長野主膳(3)

―埋木舎の直廻 馬場杉右衛門
「わけちゃん」について 柏測 宏昭
疳の虫について 柏測 宏昭

禪(ふんどし)について 柏測 宏昭
釜利谷地区・手子神社にある「や
ぐら」について―横浜市金沢区
大喜多紀明

講師 旭堂南陵(二代目)の聞き
書き一代記(15) 菅沼晃次郎

◆季刊 禅文化 禅文化研究所

〒604-8456京都市西京区西ノ京壺ノ内町
8-1 花園大学内 TEL075-811-5189
年5000円 www.zenbunka.or.jp

◇224 2012.4 A5 160p 1200円

吾が師を語る 山田無文老師 河野 太通
『訓読 元亨釈書』紹介 山家 浩樹
禅宗語録入門読本(15)

百杖野狐(上) 小川 隆
ゼミナール・禅思想の道を歩く
購読『信心銘夜塘水』(7) 西村 恵信

南宋・金の衰亡と禪(下之下)
要説・中国禅思想史(33) 伊吹 敦
長岡禅塾物語(3) 夢中問答(前) 北野 大雲

善財童子の求道ものがたり(25)―
生死の潮流を乗り越え、正法の
海洋へと導く航海師ヴァイラ 小林 圓照

禅僧の死に様(7)
死にともない―仙厓義梵 藤田 琢司
南禅寺南禅院と天龍寺の庭園 町田 香

言葉を超えて 平塚 景堂
臨床僧の会・サーラ 佐野 泰典
碧巖録提唱(17)

第三十九則 雲門花菓欄 山田 無文
ひとくち法話 察してあげること
横田 南嶺

関牧翁老師 伊藤 紫虹
グラビア 丈山文庫蔵 禅林墨蹟
東嶺と大休

寺庭さんのリレー・エッセイ
多くの方に支えられて 矢板ナヲ子
技を競う

Ajee バングラデシュの手仕事 川辺 紀子
和尚さんの身体講座(34)
安楽坐禅法入門(4) 樺島 勝徳

あはれ幾春の花散りにけり
―斎藤史の歳月の歌 佐伯 裕子
表紙解説 藤元 裕二

いっぶく拜見
◆京都市政史編さん通信
京都市政史編さん委員会

〒602-0867京都市上京区寺町通丸太町上る
松蔭町138-1 京都市歴史資料館内
TEL075-241-4312 1999年創刊
city.kyoto.jp/somu/rekishi/

◇42 2012.4 A4 10p

『京都市政史 第2巻 市政の展開』
発刊に際して 秋月 謙吾
世界文化自由都市の源流にふれる
—『京都市政史 第1巻』を読ん
で 平井 潔子
職員必読の一冊『京都市政史』 山村 薫

◆芸能史研究 芸能史研究会

〒602-0855京都市上京区河原町荒神口下ル
上生洲町221 キトウビル303
TEL075-251-2371 年6000円 1963年創刊
www.5b.biglobe.ne.jp/~geinoshi/

◇196 2012.1 B5 41+27p 1800円

盲僧琵琶の誕生について—北九州
に伝存する楽器資料の調査から
薦田 治子

北野巫女「あやこ」と多治比奇子
—天満宮創建功労者の系譜 五島 邦治
芸能史ノート 英訳狂言の問題—
《棒縛》を例に 関屋俊彦／サヴァス美苗
芸能史の書棚 橋本雄著『中華幻
想—唐物と外交の室町時代史』家塚 智子

紹介 『図録 七代目市川團十郎
展—生誕二百二十年によせて
—』／金文京著 高等研選書25
『能と京劇—日中比較演劇論—』
／関西学院大学博物館開設準備
室編『戦後演劇の世界 大阪労
演とその時代Ⅰ』

例会発表要旨

人形浄瑠璃の地方展開
—東海地方を中心に 加納 克己
近世中後期寺社における雅楽の

奏演体制—專業樂人と「素人」
の關係を中心に 山田 淳平
宇治加賀掾の浄瑠璃芸論と金春
禪鳳系謡伝書との関わりをめ
ぐって 田草川みづき

◆古代史の海 「古代史の海」の会

〒615-8194京都市西京区川島栗田町22
中村修方 FAX075-392-3743
年4000円 1995年創刊
www.k5.dion.ne.jp/~pan/kodaishinoumi/

◇68 2012.6 A5 96p 1500円

巻頭言

東日本大震災と集落共同体 中村 修
日本国号の新史料「百済人《祢軍
墓誌》」 田中 勝
榎一雄『邪馬台国』を読む 中村 修
会員ひろば

厩戸を操る勢力 渡部 正路
会稽東治の東をめぐって 堀口 清視
アンデス通信(21) 市木 尚利
書評 半沢英一『天皇制以前の

聖徳太子』 河越 尚司
大分県丑殿古墳の被葬者像 高坂 孟承
「仏教倭王論」小論 河越 尚司
考古学文献を読む会の報告 河野 宏文

◆史迹と美術 史迹美術同好会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入
西大路町146 中西ビル内
FAX075-441-3159 年8000円 1930年創刊

◇826 (82-6) 2012.6 A5 36p 915円

飛雲閣を探して(1) 本願寺「御
亭」と国宝「飛雲閣」(下) 加藤 繁生
四国八十八ヶ所霊場の変遷(1)
四十一番龍光寺の本尊と寺号 小松 勝記
日本の塔百選(6)
海住山寺五重塔 中西 亨

第969回例会 奥琵琶湖の湊と周
辺の文化財を訪ねる

品角阿止美／嘉津山清

第970回例会

鳥取県伯耆の文化財を訪ねる 東 暲
因幡中南部の文化財を訪ねる 東 暲
口絵写真解説 京都市右京区京北
(旧京北町)の石造美術 品角阿止美
「石造美術勉強会」のおしらせ
石造美術勉強会に参加して 尾崎 洋之

◆史談福智山 福知山史談会

〒620-0884京都府福知山市堀495-3
塩見昭吾方 TEL0773-22-7546

◇718 2012.1 B5 6p

真下飛泉「战友」歌碑移設記念に
関して 嵐 光激
コラム 未来の日本人を形質人類
学からの展望 塩見 昭吾

◇719 2012.2 B5 8p

平成24年度 福知山史談会総会報
告(編集者より)
記念講演「明智光秀と坂本城」中
島眞瑞氏

平成23年度福知山史談会一般会計
収支決算報告書／平成23年度福
知山史談会特別会計収支決算報
告書／平成24年度福知山史談会
一般会計予算書(案)／福知山史
談会会則

◇720 2012.3 B5 4p

昭和十、二十年代福知山の洋学事
情 依田 豊司
東日本大震災から一年 3月11日
(編集者より)

◇721 2012.4 B5 4p

春の例会(24年度) 春の歴史散歩
大原神社・経ヶ端城址其の他を

巡る(編集者まとめ)

◇722 2012.5 B5 6p

医師有馬涼及、徳本行者を診察 嵐 光激
訃報 史談会顧問 大槻昌行氏
御逝去 嵐 光激
コラム 賑わった「金環日食」
平成24年(2012)5月21日 嵐 光激

◇723 2012.6 B5 4p

福知山市で新出の徳本名号石とそ
の周辺について 嵐 光激

◇724 2012.7 B5 4p

福知山市宇多保市の徳本名号石に
ついて 嵐 光激
コラム 5月に続いて6月にも天体
ショーで賑わう 嵐 光激

◆地名探究 京都地名研究会

〒611-0031京都府宇治市広野町宮谷110-15
糸井通浩方 TEL0774-44-7636
年3000円 2003年創刊
www.geocities.jp/Kyotochimei/

◇10 2012.4 A4 57+18p

巻頭言

研究会10周年を振り返って 吉田 金彦
巻頭言 池田末則当会顧問・日本
地名学研究所所長を偲んで 綱本 逸雄
タカノからヤマトへ

—移りゆく丹波王権 奥村清一郎
「聚楽第」趾の町名 山崎 泰正
日本語とアイヌ語の人体語彙によ
る地名—発表した国際名称科学

会議の紹介を兼ねて 鏡味 明克
大雲川と由良川 加藤 晃
城下町田辺(舞鶴)の町名の移り変
わり—幕末から明治へ 高橋 聰子

「嵐の山」から「嵐山」へ—「小倉
山」との關係をめぐって 糸井 通浩
隼人族、語源と関連地名から 永田 良茂

10周年記念特集

エッセー「私と地名」
 旅路の地名 石田 天祐
 「糸井」という地名 糸井 通浩
 「多賀」への愛着 岩田 貢
 地名が持つイメージ 小寺 慶昭
 盃状穴のある石 小牧誠一郎
 大学教育における「地名学」に
 ついて 柿木 重宜
 「百度」という地名 齋藤 幸雄
 柳田國男の言葉噛みしめて 綱本 逸雄
 私の生家と弁財天町 山崎 泰正
 地名を歩いて語源を知る 吉田 金彦
 平成23年度京都地名研究会・活動
 報告
 地名の二文字
 一和名類聚抄の地名を中心に 蜂矢 真郷

◆ノートル・クリティーク 歴史と批評

ノートル・クリティーク編集委員会
 〒606-8522京都市左京区下鴨半木町1-5
 京都府立大学文学部 小林啓治研究室
 2008年創刊 notre-critique.com
 ◇5 2012.5 A5 75p 1000円
 論説 臨海工業地帯の誕生と普及
 一土木技術者鈴木雅次の軌跡
 1920-1970 小堀 聡
 書評
 櫻澤誠著『沖縄の復帰運動と保
 革対立—沖縄地域社会の変容』
 大野 光明
 リプライ 櫻澤 誠
 板垣竜太・鄭智泳・岩崎稔編
 『東アジアの記憶の場』 宇都宮めぐみ
 加瀬和俊著『失業と救済の近代
 史』 佐々木拓哉
 史料紹介『京都市編入引継書類』
 (京都府紀伊郡柳原町) 奥山 典子

◆洛北史学 洛北史学会

〒606-8522京都市左京区下鴨半木町1-5
 京都府立大学文学部歴史学科内
 TEL075-703-5259 1999年創刊
 ◇14 2012.6 B5 153p
 昭和初期における兵事行政の構造 久保庭 萌
 浮田和民の国際秩序観—倫理的帝
 国主義から新亜細亜主義へ 岡本 真奈
 石清水八幡宮門前町における撰社
 高良社と太鼓祭り 竹中友里代
 参勤交代制の変質 藤本 仁文
 金輪王、封禅す
 一武後の君主権と封禅 笠松 哲
 書評
 勝山清次著『中世伊勢神宮成立
 史の研究』 山本 倫弘
 上田純一著『足利義満と禅宗』 竹貫友佳子
 新刊紹介
 藤田覚著『天皇の歴史06 江戸
 時代の天皇』 重富 裕昭
 ベルナル・マルシャン著、羽
 貝正美訳『パリの肖像 19～
 20世紀』 高口 香莉
 大会例会報告要旨
 第13回洛北史学会大会 大会テ
 ーマ 帝国秩序と「教育」
 —「内なる他者」への視点
 報告「朝鮮・台湾・中華民国
 出身学生と「内地」という
 文脈—1924(大正13)年同志
 社女学校 皇后行啓にみる
 その役割と表象—」宇都宮
 めぐみ氏
 報告「「内なる他者」として
 のアメリカ先住民と公教育
 —19・20世紀転換期の同化
 教育をめぐる葛藤—」中野

由美子氏

報告「「内なる他者」の規律
 化・隠蔽化と植民地教育—
 英領インドの「ユーラシア
 問題」と帝国の人種秩序—」
 水谷智氏
 コメント 川瀬貴也氏
 討論(概要)
 第13回洛北史学会定例会
 大坪州一郎氏「古墳時代中・
 後期における煮炊器種の変
 容過程」
 山本倫弘氏「中世伊勢神宮法
 楽の成立と神領—醍醐寺と
 の関わりを通じて—」
 柴田広志氏「ヘレニズム諸王
 国とローマの衝突—マケド
 ニアとローマの戦争を中心
 に—」

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
 井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円
 ◇294 2012.6 B5 14p
 近世前期の真言律宗土丸村蓮華寺
 廣田 浩治
 ビルマ戦線回顧録 インパール作
 戦船舶工兵の記録(6) 長滝谷忠治
 蟻通雑誌
 神宮寺宗福院の建立(3) 樋野 修司
 和泉の中世城郭(12) 井田 寿邦
 ◇295 2012.7 B5 12p
 忘れ去られた佐野町場の俳人植木
 右稲と泉州佐野俳諧
 よねかずゆうたるめう
 11年度(24年目)を振り返る 事務局

◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンテ
 イークショップ一兵内 TEL06-6931-1081
 年5000円 1984年創刊
 blog.goo.ne.jp/rekisitannbou/
 ◇334 (29-6) 2012.6 B5 8p
 浪速今昔百景(16) 全興寺 川村 一彦
 5月例会報告(第309回)「海から見
 た仏教伝来の頃」道家康之助
 氏/初心者のための古文書講座
 「古文書に挑戦」中澤祐一氏 (久保)
 ◇335 (29-7) 2012.7 B5 12p
 浪速今昔百景(17) 今宮戎神社 川村 一彦
 6月例会報告(第310回)「大坂城と
 大坂の陣」北川央氏/会員講
 座(第7回)「日本の歴について」
 安田建一氏 安田 建一
 再び5月例会報告(第309回) 演題
 「海から見た仏教伝来の頃」道
 家康之助氏
 5月見学会 近代建築群と中京区
 の史跡を訪ねて 久保 敏博
 ◆家系研究 家系研究協議会
 〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家
 1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921
 年5000円 1981年創刊
 www.geocities.jp/kakenkyou/
 ◇53 2012.4 B5 126p 1500円
 摂津渡辺党の遠藤氏と渡辺氏 宝賀 寿男
 安原彦左衛門元吉の生涯と家系 安原 繁俊
 珍姓のルーツ(18) 中田みのる
 奥吉野井光 伊藤本家の戒名と位
 牌について 安居 隆行
 真説津軽為信物語(後の1)—大石
 内蔵助の高祖母共近衛卿の落胤
 か、時慶卿記の真実 佐藤 博
 肥前の相良氏について(1) 相良 一夫

平家版『京都真野家の遠祖』(2) 真野 幹也
薩摩刀匠 浪平正国一千年秘話
刀鍛冶の里(1) 浪平 博司
一ノ宮の祭神と神々の系譜(3) 川村 一彦
コラム
奇名変名大集合・変名編 真野 幹也
ここでちょっとコーヒープレイ
ク 馬原 浩一
表紙家紋について 神楽鈴 馬原 浩一

◆家系研究協議会会報

〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家
1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921
年5000円 2002年創刊
www.geocities.jp/kakenkyou/
◇40 2012.4 B5 8p
苗字収集半世紀の弁 中田みのる
家系研究協議会 平成23年度冬の
例会報告「肥前の相良氏につ
いて」相良一夫氏
小村氏蔵書整理状況(中間報告)
家研協たより／島野穰さん追悼文
集の募集 締切り1ヶ月延伸し
ます／図書出版案内／受贈図書
・資料
珍名さんいらっしゃい(37) 眞野 幹也

◆河童通心 和田寛

〒591-8021堺市北区新金岡町5-4-327
TEL072-251-2586 年2400円
◇341 2012.6 A5 28p 200円
河童の文化史 平成期(18)
平成21年(2009年) 和田 寛

◆河内長野市郷土研究会誌

〒586-0032大阪府河内長野市栄町21-11
椋本進方 TEL0721-52-3394
年3000円 1979年創刊

◇54 2012.4 B5 143p

巻頭言 椋本 進
天誅組御触書御高札之写に就て 竹鼻 康次
明治44年発行「高野登山鐵道沿線
遊覧案内」の挿入写真・図等に
ついて 松本弘(裕之)
続・髪結床仲間の訴え 松尾巴留美
続 日本一美しい墓地都市(墓地と
の共生)(3) 浅井 五郎
鬼住村研究・そだ峯越えと七本松
越え 高野街道の脇道 中筋喜春(喜昭)
河合寺略誌 竹鼻 康次
昭和10年頃の南河内地方のバス交
通の状況と旅館・料理屋につい
て 松本弘(裕之)
河合寺文書 河内長野市郷土研究会編
播州に於ける女性の西国三十三度
行者(尼サント)について―播州
清水寺の西国三十三度供養塔 玉城 幸男
「与津のタンスか府中のタンスか」
井上 元良
高野への古道「ソタ峰越」―第12
回知ったはりまっか?河内講座
要項 椋本 進
お知らせ 南昭雄氏を悼む
河内長野市郷土研究会一同
平成23年度事業報告 杉田定嗣／井上元良
河内長野市文化遺産活用事業実行
委員会(文化庁支援)事業(平成
23年度) 椋本 進
河内長野市文化連盟事業報告(平
成23年度) 椋本 進
記念事業委員会報告(平成23年度)
安原 幹也

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13
上本町YUFURA 7階

TEL06-6775-3686 年2200円

◇751 2012.6 A4 8p 300円
古代の石仏・石塔 狭川 真一
泉津と恭仁京 森下 恵介
◇752 2012.7 A4 8p 300円
葛城市の仏像 赤川 一博
岐阜県の近代建築 川島 智生

◆近畿民俗通信

〒547-0031大阪市平野区平野南4-2-5
原泰根方 TEL06-6709-8533 2009年創刊
◇12 2012.6 A4 4p
野生動物と農林業
一兵庫県の事例から 田中 明
平成24年度総会報告 田中 明

◆堺行基の会会報

〒599-8266堺市中区毛穴町462-8 吉田方
TEL072-271-5972
◇35 2012.4 B5 10p
平成23年10月23日(日) 講演会の
記録 吉田靖雄氏「行基の弟子
集団」／鈴木景二氏「行基年譜
を読み直す」／宮城洋一郎氏
「光明皇后の社会福祉」 大川 法子
平成23年11月20日(日) 史跡巡り
の記録 堺再発見の旅 吉良 隆司
平成24年1月23日(日) 講演会の
記録 「行基の社会福祉事業」
吉田靖雄会長／大野寺土塔の文
字瓦の考察 岩宮未地子氏 仙波 恒民

◆左海民俗 堺民俗会

〒593-8307堺市西区平岡町268-20
下谷佐吉方 TEL072-274-1479 年3000円
◇139 2012.5 B5 12p
わた(綿花)の話 大森 治
《特集 先祖供養・墓》

先祖代々の墓 佐原 浩二
昔の墓と今の墓 生駒 道弘
私が死んだ時 森井 淳吉
伝道者行基と行基七墓 加藤 孜子
和田多喜子さんと熊野参詣 生駒 道弘
一等三角点の怪 岸 繁司
例会報告と一口メモ

11月例会報告(11月18日) 晩秋
の東福寺から泉涌寺を歩く 川村 淳二
11月特別例会報告(11月2日)
山背古道を歩く・I (木津駅
～棚倉駅) 下谷 佐吉
12月例会報告(12月18日)
狭山池灌漑水系システム 光田 三生
1月例会報告(1月14日)
堺の大地震 森村 健一
1月特別例会報告(1月25日)
菅公聖跡巡拝 初天神 川村 淳二
2月例会報告(2月19日)
岸和田市を歩く 山口 邦雄
次号の会報テーマ「彼岸への旅立
ち」

◆除痘館記念資料室だより

(助)洪庵記念会除痘館記念資料室
〒541-0042大阪府中央区今橋3-2-17
緒方ビル TEL06-6231-3257 2010年創刊
◇4 2012.6 A4 4p
津藩の種痘の実施について一特に
京都新宮家との関係をめぐって
茅原 弘
わが国におけるジェンナー伝記 加藤 二郎
大坂の除痘館における出張種痘 古西 義磨
足守除痘館の種痘引札をめぐって 浅井 允品
種痘の史跡を訪ねて(1)
「お玉ヶ池種痘所」跡 米田 該典
緒方洪庵の墓所と私 緒方 高志

◆城だより 日本古城友の会
〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28
平川大輔方 TEL06-6652-4511
web1.kcn.jp/kojyo_tomonokai/
◇521 2012.5 B5 22p
山城 伏見城とその城下町 を探訪します(6月・第584回例会)のご案内
7月・第585回例会の予告/セミナー等のご案内/受贈図書・資料/城郭ニュース/編集部より
4月・第582回例会の報告 河内・大和 信貴山城、高安山城 周藤 匡範 会員通信
信貴山城(鳥瞰図) 川端 義憲
陣屋と大名(承前) 近畿周辺の陣屋/小藩と陣屋町への郷愁と魅力 上田 正和
新聞記事紹介
◇522 2012.6 B5 20p
三河足助城、飯盛山城などを探訪します(7月・第585回例会)のご案内
8月・第586回例会の予告/セミナー等のご案内/受贈図書・資料/城郭ニュース
5月・第583回例会の報告
近江 水口岡山城、水口城 森田 又一 会員通信
水口岡山城(鳥瞰図) 川端 義憲
東京の山城を歩く 白川 輝昌
大名の飛地(飛知)陣屋 上田 正和
新聞記事紹介
◇523 2012.7 B5 20p
摂津大坂城を探究する(8月・第586回例会)のご案内
9月・第587回例会の予告/セミナー等のご案内/受贈図書・資料

/城郭ニュース(新聞記事提供者)
5月・第585回例会の報告 山城伏見城とその城下町を探訪 山口 猛
会員通信 大名の飛地(飛知)陣屋(承前) 河内 白木陣屋 上田 正和
新聞記事紹介

◆つどい 豊中歴史同好会
〒560-0884大阪府豊中市岡町北2-8-11
山口久幸方 TEL06-6857-4959
homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/
◇293 2012.6 B5 20p
四・五世紀のヤマト政権と近江(下)一香坂王・忍熊王の反乱伝承を手がかりとして 塚口 義信
「神武東征」考一安芸国 曾川 直子
大東市立歴史民俗資料館と堂山古墳群・野崎観音を訪ねる 阪口 孝男
第24回定期総会/読書室「菟原II」森山秀人さん還暦記念論文集
◇294 2012.7 B5 18p
河内政権肯定論 藤田 和尊
文献紹介 「女帝中継ぎ論」とは何か一研究史と史学史の間 石塚 一郎
5月現地見学
百舌鳥古墳群(東群)を歩く 小川 滋

◆ヒストリア 大阪歴史学会
〒560-8532大阪府豊中市待兼山町1-5 大阪大学大学院文学研究科 飯塚一幸研究室
1951年創刊 www.soc.nii.ac.jp/historia/
◇231 2012.4 A5 142p 800円
《特集 煉瓦生産と近代考古学》
特集にあたって 大坂歴史学会考古部会
煉瓦についての概説 北山 峰生
初期煉瓦生産の考古学 藤原 学
阪神地域で使用された煉瓦 竹村 忠洋

泉州の煉瓦生産と陸軍由良要塞 山岡 邦章
奈良県における明治・大正期煉瓦の基礎的考察 北山 峰生
研究 「総力戦体制」下の恒藤法理学一「統制経済法」理論をめぐって 久野譲太郎
研究ノート 「国制と法」から歴史学的手法を鍛える一水林彪『天皇制史論』『国制と法の歴史理論』に接して 木下 光生
新刊紹介
上田純一『足利義満と禅宗』 大田壮一郎
緊急報告 台風12号に伴う和歌山県内における被災資料の救出・保全活動について(最終通告) 藤本清二郎/前田正明/藤隆宏
報告
2011年度「第27回歴史学入門講座」の記録 川元 奈々
大阪市公文書館に関する交渉について 船勢 肇
春日向山古墳・山田高塚古墳への立ち入り 安村 俊史
◇232 2012.6 A5 126p 800円
羽柴秀吉と淡河楽市 長澤 伸樹
1930・40年代大都市近郊都市の変容と新体制をめぐる対抗一東京府八王子市を事例に 中村 元
研究ノート
山鹿素行の職分論再考 中嶋 英介
書評 千枝大志著『中近世伊勢神宮地域の貨幣と商業組織』 高木 久史
新刊紹介
福江充著『江戸城大奥と立山信仰』 高橋 平明
幡鎌一弘著『語られた教祖一近世・近現代の信仰史一』 引野 亨輔
2012年度大会報告要旨

考古・部会報告 森本徹/北山峰生
古代・部会報告 柳沢 菜々
古代・個人報告 河野通明/佐藤靖子
中世・部会報告 芳澤 元
近世・部会報告 河野未央/佐竹朋子
近世・個人報告 鴨頭 俊宏
近代・部会報告 板垣 貴志
近代・個人報告 関口 哲矢
報告
茨城史料ネットの現状と課題
一震災後一年を経過して 藤井 達也
大阪歴史学会のホームページ移転とリニューアルについて 小野塚航一

◆会報むろのつ 「嶋屋」友の会
〒671-1332兵庫県たつの市御津町室津457
たつの市立室津海駅館内 TEL079-324-0595
年3000円 1997年創刊
www.maple.or.jp/~shimaya/
◇19 2012.5 B5 40p
誌上ギャラリー
幻想華とあざみ 西明寺末一
誌上インタビュー
『万葉集』は文化財 上野 誠
《特集『万葉集』の世界》
『万葉集』と現代 坂本 信幸
ドラマチック海道
播磨灘と『万葉集』 楠木 立身
瀬戸内地方の「万葉地名」覚え書き 柿本人麻呂の「羈旅八首」をめぐって 小見山 輝
鞆の浦の万葉歌八首 戸田 和吉
水で繋がれた歴史の中で(5)
平清盛の瀬戸内海 岩井 忠彦
町並み探訪(19) 明石 八木 雅夫
十冊の本を読む(9) 『花嫁のアメリカ歳月の風景 一九七八―一九九八』 安井 道夫

博物館遊歩(19)

奈良県立万葉文化館 柏山 泰訓
広告世相視／室津ミュージアムニ
ユース

◆嶋屋友の会だより

〒671-1332兵庫県たつの市御津町室津457
たつの市立室津海駅館内 TEL079-324-0595
年3000円 www.muro-shimaya.jp

◇46 2012.6 A4 4p

現地見学会「岩屋神社のおしよた
か神事」を見る／「たつの大河
物語」はじまる／案内板 現地
見学会「岩屋神社のおしよたか
神事」

友の会賛助会員のご紹介／賀茂神
社の森に植樹／現地見学会「廣
峯神社のお田植え祭」中止

室津よもやま話(12) 鳴島(3) 柏山 泰訓
カタカナ語あれこれ 柏山 泰訓
かえりみち 平清盛ゆかりの地
(2)一室山合戦

告知板 たつの大河物語 展示・
関連イベント

◆史料ネット NEWS LETTER

歴史資料ネットワーク
〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1
神戸大学文学部地域連携センター気付
TEL078-803-5565 年1000円
www.lit.kobe-u.ac.jp/~macchan/

◇69 2012.5 A4 12p

巻頭言
史料ネットの活動にふれて 澤井 廣次
特集
被災歴史資料保全とボランティア
ア 天野 真志
被災史料救援活動参加記 遠本 愛

兵庫区歴史講演会「清盛塚からみ
た兵庫」 吉原 大志
兵庫区歴史講演会に参加して 豊田 通子
神戸・阪神歴史講座 第六回 の
じぎく文庫『神戸～尼崎 海辺
の歴史』出版記念企画

2011年東日本大震災被災資料救出
活動支援募金ご協力の御礼

◇70 2012.6 A4 12p

巻頭言
史料ネットとの出会いから 中岡 宏美
記録資料レスキューボランティア
参加記 富善 一敏
茨城史料ネット被災資料整理ボラ
ンティア参加記 人見佐知子
宮城・岩手での津波被災資料レス
キューについて 松下 正和

2012年度歴史資料ネットワーク総
会・シンポジウムのご案内「歴
史遺産と資料を守りぬくー関西
と知られざる大震災の現場を結
ぶー」

◆西宮市立郷土資料館ニュース

〒662-0944兵庫県西宮市川添町15-26
TEL0798-33-1298 1987年創刊
www.nishi.or.jp/homepage/kyodo/

◇37 2012.6 B5 8p

第28回特別展示「西宮の祭礼ーだ
んじり巡行を支える人びとー」
の開催と門戸天神社の「太鼓」
について 細木ひとみ

寄贈資料一覧(平成23年3月～平成
24年6月)

◆西宮文化協会会報

〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17
西宮神社内 TEL0798-33-0321

◇531 2012.6 B5 8p

6月行事 講演会 貝と人との関
わりー西宮の海について 講
師：大谷洋子先生
西宮文化協会 会則
会長辞任御挨拶 吉井 貞俊
平成24年度西宮文化協会会員名簿
大宇陀研修雑感 藤田卯三郎
私のバス旅行(見学会) 堀内 陽光
神宮撰末社めぐり(6) 鏡宮神社
／朝熊神社／朝熊御前神社／加
努彌神社 吉井 貞俊
J R 櫻井線 大和高田→奈良(1) 吉井 貞俊

◇532 2012.7 B5 8p

7月行事 映画鑑賞会ー映画と音
楽「映画音楽について」講師
野村純一、ピアノ演奏 野村太
郎／映画「大当り 狸御殿」
アメリカ旅行記・ボストンの旅
(平成19年7月4日～10日)(1) 牧野 好男
復帰40年の沖縄(1) 二宮 健
大学自動車部で学んだ事 矢野 光男

◆歴史と神戸 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4
田中印刷出版内 TEL078-871-0555
年3000円 1962年創刊

◇292 (51-3) 2012.6 A5 49p 600円

神戸史学会賞・落合重信記念賞の
公募と暑中お見舞い広告のお願い
《特集 歴史文化を活かす》
兵庫の戦後モダニズム建築 第12
回 美野丘小学校円形校舎 笠原 一人
体験的「歴史を活かしたまちづく
り」 正岡 茂明
歴史・文化を活かしたまちづくり
ー尼崎市猪名寺自治会の取り組み

み 内田 大造
開港時の「兵庫の津」と「風」 竹村 勝昌
淡路の豪農尊攘派と天誅組の志士
たち 大江 恒雄
動乱期の青少年教育史話 ああ筒
台の辺に一戦中戦後を生きた中
高生の記録(8) 森田 修一
地名研究(102) 阪神間の地名探
索 髭茶屋(尼崎)姥ヶ茶屋(宝
塚)御茶屋所(西宮)街道と茶屋
地名 渋谷 武弘
歴史資料ネットワーク総会シンポ
ジウム「歴史遺産と資料を守り
ぬくー」ー関西と知られざる大震
災の現場を結ぶ
6月17日に第6回神戸・阪神歴史講
座 のじぎく文庫『神戸～尼崎
海辺の歴史』出版記念
7月8日に第7回神戸・阪神歴史講
座 尼崎の歴史街道に学ぶ
新聞地域版を読む

◆熊野 紀南文化財研究会

〒646-0024和歌山県田辺市学園6-3
濱岸宏一方 TEL0739-25-0657
年3000円 1969年創刊

◇142 2012.5 A5 51p

南方熊楠史料集の問題
ー二つの全集を中心として 雲藤 等
「南方熊楠ロンドン日記」最終章 和田 健治
『熊代繁里日記』を読むー本宮大
社と南部の祭礼・年中行事 濱岸 宏一
春日神社の神社合祀について
ー田野井区会議録より 廣本 満
郷土関係新刊紹介 南方熊楠大事
典／紀伊半島大水害 豪雨／和
歌山の部落史 史料編近現代2
文化財ニュース／会合メモ

◆国際熊野学会会報

〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1 新宮市教育委員会文化振興課 TEL0735-23-3368 年3000円 2005年創刊

◇17 2012.5 B5 4p

火と水の神域、熊野 金山明生／楠本弘児
平成24年度国際熊野学会大会一神と仏の世界／新委員・役員／義援金について／会費納入について(お願い)／平成24年度東京例会一山岳信仰と庶民信仰(予告)／会誌『熊野学研究 2号』の発刊について(お詫び)

◆和歌山地方史研究 和歌山地方史研究会

〒649-6258和歌山県岩出市山980-2-1312 江本英雄方 年3000円 1980年創刊 wakayamachihoshi.hp.infoseek.co.jp

◇62 2012.3 A5 80p

研究 18世紀後半の高野寺領への越米について(上) 廣本 満
研究ノート 旧県会議事堂移転候補地の発掘調査 武内 雅人
旧富田荘中村の集落景観の復原について 山本 新平
動向 台風12号に伴う被災資料の救出・保全活動について(報告) 歴史資料保全ネット・わかやま
地方史のひろば 「なんぼう恐ろしき物語」—その鐘の刻銘、三月十一日 山村 規子
彙報 和歌山地方史研究会の活動
三尾功先生のご逝去を悼む

中国・四国

◆大社の史話 大社史話会

〒699-0701鳥根県出雲市大社町杵築東455-

1 馬庭孝司方 TEL0853-53-1582

年2500円 1974年創刊

www.taisha-shiwa-kai.jp

◇171 2012.6 B5 42p

出雲阿国の銅像里帰りについて 石川百合子
大社の音楽ことはじめ(1)

奥田智重子と松山芳野里 馬庭 孝司
コラム 「修理免」のはなし 編集部
大社の文化を学ぶ・受け継ぐ・創る(5) おもてなしの心で観光ガイドを 出雲大社観光ガイドの会
『神話の国・出雲』

一吟行の思い出 宮本よしえ
出雲弁よもやま話—弥山さんよも
高け塔 スカイツリーができた

村上 清子

消えゆくもの(38)

—ガキ大将と昔の遊び 春木 芳子
コラム 補陀落渡海と仮宮 編集部
日本海運史料紹介(2) 出雲国鷲浦船問屋讀岐屋旧蔵 船御改控帳 藤澤 秀晴

神話博しまね特別展 写真展「八雲立つ出雲」—植田正治・上田正昭が歩いた神々のふるさと

古代出雲歴史博物館

手銭記念館の四季 刀剣と刀装具
—江戸のオシャレ心、『魂』を飾る 佐々木杏里

2012年出雲弥生の森博物館特別展
「よみがえるな!」—国富中村古墳のお葬式 出雲弥生の森博物館

読者コーナー 編集部
平成24年1月~3月出雲市大社町年表 編集部

◆宇喜多家史談会会報

〒700-0826岡山市磨屋町6-28 光珍寺内

TEL086-222-2028 年2000円 2002年創刊

◇42 2012.4 A4 10p

宇喜多氏の祖先伝承からの語らい 出宮 徳尚
文禄期「唐入り」における宇喜多秀家の立場について—豊臣秀勝との関係から 大西 泰正
焼失前の岡山城の写真を寄贈 矢吹 壽年
物語直家記伝 乙子の城 第14回 相克(5) 山重十五郎
会員サロン 教えてください! 一 会員 訃報 花房正幸氏 宇喜多家史談会
平成24年度宇喜多家史談会総会報告 石渡 隆純

◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会

〒704-8113岡山市西大寺2-6-36 村上岳方 TEL086-942-6156 年1500円 1986年創刊
homepage3.nifty.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm

◇126 2012.5 B5 34p

近世高梁川における河川交通制度
—継船制と番船制 久住祐一郎
書評 妻鹿淳子『武家に嫁いだ女性の手紙』を読んで 藪田 貫
研究動向 東日本大震災以降の各地ネットの情報 今津 勝紀

参加記 岡山県立記録資料館調査報告会に参加して 魚屋 翔平
岡山中世史研究会第50回例会—田中修實「岡山中世史研究会の10年を振り返って」 加栗 貴夫

◆岡山藩研究 岡山藩研究会

〒169-0051東京都新宿区西早稲田 早稲田大学文学部 紙屋研究室内
www.waseda.jp/assoc-okayamahan/

◇67 2012.5 B5 16p

〈第33回全体会の記録〉

報告要旨 近世前期の藩軍事と藩主—岡山藩を例に 河本 純
討論要旨
参加記 河本純報告「近世前期の藩軍事と藩主—岡山藩を例に」を聞いて 深谷 克己

◆岡山民俗学会会報

〒700-0062岡山県岡山市大安寺中町11-17 次田圭介方 年4000円

◇208 2012.5 B5 20p

投稿 会報207「水没の町にて—苦田ダム水没予定地の民俗調査に参加して—」を読んで 辻野 喬雄
コメント 景山 志穂
孫の手謎 山本 美香
岡山文庫と岡山民俗学会と 次田 圭介
学会記事

2月例会報告 2月例会発表要旨
裁判記録にみる神林伐採事件 山下 洋
伊勢大神楽について—岡山県下の回禮状況と今後の研究課題 森川奈津美

平成23年度・第41回 岡山県民俗学会賞選考委員会 開催
奈義町滝本地区調査報告書刊行委員会最終会議 開催
平成24年度役員会(第1回)開催
平成24年度総会・研究発表大会報告

岡山民俗学会賞(平成23年度・第41回) 安倉清博氏 次田 圭介
平成24年度記念講演要旨 人を畑に葬る習俗をめぐる—一両墓制 研究史再考3 加藤 正春

平成24年度研究発表大会発表要旨
伝承者の綴った民俗誌一岡山市
東区上道北方の取り組み 安倉 清博
岡山の薄荷 土岐 隆信
神社祭祀に見る花奪いの諸相 江木 淳人
近世瑜伽山門前町の様相について 吉原 睦
お便りから／沖新田政田地区民俗
調査 原稿締切(最終)と刊行に
ついて

◆きび野 岡山県郷土文化財団
〒700-0813岡山市石関町2-1
Tel086-233-2505

◇126 2012.6 A5 14p

表紙説明 松原三五郎『少女像』

新任のご挨拶 波田 善夫
随想 日和下駄のススメ 尾島 治
岡山の人物 内田玄瑞 首藤ゆきえ
岡山の自然 吉井川 植田 彰
岡山の文化財 大原美術館本館 上田 恭嗣
わが町・わが村の自慢
たけべの森公園(岡山市北区)
ふるさとの想い出 白桃(赤磐市)

◆芸備地方史研究 芸備地方史研究会
〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3 広島
大学大学院文学研究科日本史学研究室内
Tel082-424-6643 年3000円 1953年創刊

◇281 2012.6 A5 64p

備後国衆・杉原盛重の立場一毛利
氏との主従関係を中心として 木下 和司
歴史を語る 福山市鞆の浦「亀の
甲」について 松居 敏雄
動 向
「建国記念の日」のヒロシマ(46)
歴史講座「広島県の歴史」の記録
新聞記事から(2007年1月～6月)

広島県の地方史研究
伊予史談会交流報告
芸備掲示板
平成24年度スポット展示「菅茶
山先生 塾を起こす」
広島県立歴史博物館
博物館大学(2) 広島県立歴史博物館
史跡をあるく
御調八幡宮境内和気神社

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会

〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8

Tel084-953-6157 bingo-history.net

◇166 2012.6 A4 20p

中世石造物の地方色 田口 義之
論考 伊邪那岐命の禊を特定する 根岸 尚克

事務局よりお知らせ

中世石造物調査のお願い
史料紹介 福田別所砂留について 田口 由実

調査報告 中世石造物の調査報告
一寒水寺古墓群
御尋申上候 中世石造物と石工集
団について 岡田宏一郎
絵手紙だより 小川 道子
例会報告「歴史ウォーク」に参
加して「赤坂ってこんなに…」

山下 誼
山下 誼
ふら探訪に参加して 中西 太一
「ふら探訪参」に参加して

一福山発展の道を歩く 千住美保子
4月例会レポート
一世羅町の石造物を訪ねて 種本 実
紀行文 銀山紀行 石見の國「久
喜銀山跡」を訪ねて(大森だけ
が銀山ではない) 岡田宏一郎
山城レポ 『信長公記』城跡探訪

江濃国境・長比の砦 末森 清司
紀行文 対馬紀行(2) 三好 勝芳
訃報 平井優三氏・出内博都氏
写真で見る郷土探訪(福山市丸之
内)「福山城三之丸北御門外枳
北川石垣」 中西 太一
大分便り 我が生まれた在所にや
ってきた榎本武揚の父 後藤 匡史
おすすめ図書『歴史家の読書案
内』について 岡田 宏一郎

◆広郷土史研究会会報

〒737-0112広島県呉市広古新開2-1-4

呉市広公民館内 Tel0823-71-0706

1998年創刊

◇109 2012.5 A4 35p

「アプロ」陸上練習機・第1号機完
成記念写真(写真提供・相原謙
次氏) 上河内良平
広海軍工廠・第十一海軍航空廠史
相原 謙次

東広島自動車道路(黒瀬 I C～
阿賀 I C) 開通

◆みよし地方史 三次地方史研究会

〒729-4304広島県三次市三良坂町三良坂

2747 中畑和彦方 Tel0824-44-2753

1987年創刊

◇87 2012.4 A4 12p

史料紹介 年貢輸送に伴い発生し
た事件・出来事一山田家文書
「御用控」より 立畑 春夫
三次盆地の前方後円墳(4) 水尻
第一・第二号古墳、若屋南古墳、
若屋第一号古墳一調査報告 加藤 光臣
中国五大世界遺産を巡る旅 中村 芳昭
十日町にもあった三吉氏支族
「原五郎政家」の墓碑 後藤千賀子

三次地方の石造物
巡拝塔(吉舎町敷地) 中畑 和彦
三次地方の地名あれこれ(20) 十
王堂(じゅうおうどう) 三良坂
町三良坂 新祖隆太郎

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会

〒723-0062広島県三原市本町1-9-27

福岡幸司方 Tel0848-62-2935 年3600円

◇255 2012.6 B5 12p 100円

今月の各地

交通の変遷と街の盛衰 大谷 和弘
厳島神社と平清盛(1) 大本 静人
山陽新幹線 三原駅誘致秘話(4) 西原 達夫
裸の島「宿禰島」 備後 浮城
古浜の今昔(完結編)

写真で見る古浜の移り変わり 山根 光博

◇256 2012.7 B5 12p 100円

今月の各地 大河ドラマ「平清盛」
を見て想うこと 坂井 吉徳
平成24年度総会並びに記念講演会
報告 鈴木 健次
羽倉城主 末近四郎三郎信賀公430
年祭 正田 公佑

顧問 大藤直也氏死去

「韓國郷土史研究全国聯合会」李
治白會長との歓談 大本 静人
山陽新幹線 三原駅誘致秘話(5) 西原 達夫

◆史窓 徳島地方史研究会

〒779-3233徳島県名西郡石井町石井字石井
1071 金原祐樹方 Tel088-674-2806

◇42 2012.3 A5 114p 1500円

《第34回公開研究大会特集

災害史に学ぶ阿波の歴史》
近世史料にみる阿波の地震と津波 徳野 隆
考古学からみた自然災害 中村 豊

石造物からみた徳島の地震・津波
—南海地震の石碑を中心に 大川 沙織
阿波北方における南海地震の歴史
的検討—江戸時代の南海地震と
旧吉野川河口域の地盤沈下をめ
ぐって 松下 師一

研究ノート 佐賀藩の郷村絵図と
地方知行制 羽山 久男
書評

石尾和仁著『中世集落景観と生
活文化—阿波からのまなざし
—』 山下 知之
徳島地方史研究会創立40周年記
念論集『阿波・歴史と民衆IV
生業から見る地域社会—たく
ましき人びと』 松永 友和
徳島県地方史研究文献目録 (2010
年10月～2011年9月)

◆香川県立ミュージアムニュース

〒760-0030香川県高松市玉藻町5-5
TEL087-822-0002 2008年創刊

www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/

◇17 2012.6 A4 8p

調査研究ノート(11) 源平合戦と
平家物語 その時代の讃岐 芳澤 直起
あわや御家断絶か! 危機一髪だ
った京極高和—今年は京極高和
没後350年 御厨 義直
館蔵品紹介(6) 「歴史がかわる」
—瀬戸内海歴史民俗資料館 展
示リニューアル特集

ミュージアム・ガイドンス(16)
ミュージアムで出会う素敵なグ
ッズたち

展示室だより 企画展示室2「水
害と文化財—文化財レスキュー
—」パネル展/企画展示室2・4・

5「ミュージアム・アート・コ
レクション」が始まります
教育普及コーナー キッズワーク
ショップウィーク in ミュージ
アム

◆海南千里 土佐山内家宝物資料館だより

〒780-0862高知市鷹匠町2-4-26

TEL088-873-0406 2000年創刊

www10.ocn.ne.jp/~yamauchi/

◇37 2012.6 A4 10p

山内康豊書状 大島孫右衛門・吉
良川浦山百姓中宛
慶長5(1600)年11月27日 横山 和弘
探求者の姿勢 渡部 淳
特設展紹介

「輝く文字・金泥書 古代書法の
復元—福島久幸氏資料寄贈記
念—」 尾本 師子

夏休み恒例「土佐藩歴代藩主展
—土佐藩二七〇年の歴史と個
性あふれる藩主たち—」 横山 和弘

福島久幸氏金泥書作品・資料の寄
贈について 尾本 師子

特設展関連行事 「武家の理想」
展関連 大人のための弓道入門

藤田 雅子
山内家の甲冑(13) 古鎧図(3) 尾本 師子
新 研究の手引 大名家文書の所
在を調べるには 清水 邦俊
整理と保存(37)

刀剣の保存について—研ぎ編 田井東浩平
古文書への招待 徳川家康と豊臣
秀頼の二条城会見 種村 威史

土佐史の人々 孕石小右衛門元政
(1628～1701) 片岡 剛

古文書基礎知識 大名の官位 千葉 拓真
土佐の〇 地域とともに 筒井 聡史

お世話になった人々 大平 悦子
まなびのひろば 中屋 真理
受付だより 高知の歴史旅 大平 悦子
路傍の歴史
常通寺橋 高知市大膳町

◆秦史談 秦史談会

〒780-0023高知市東秦泉寺283 松本紀郎
方 TEL088-875-6671 1984年創刊

◇169 2012.5 B5 56p

表紙 岡田以蔵の墓 松下 政司
グラヴィア フジタのあるまち、
市松人形、墓、刎橋

寺田寅彦と神社 広谷喜十郎
秦の昔話 その28 三谷の巻
谷干城(2) 松の木を植える 永野美智子

俳句 落椿 西方 郁子
楠瀬大枝の周辺 和田 豊子
三振りの刀 鍋島 静一

「ローカルジャーナル 秦史談」

(『高知新聞』より)

渡辺廣之丞と小川家の家系図 小川 純一
豊臣秀吉の九州征伐(3) 笹原 保博
秦地区コミュニティ計画推進市民

会議 地域交流文化会 報告 岡林 長富
土佐の訛り 藤本 知子
龍馬暗殺 見廻組と頭・佐々木只

三郎 実兄が高知県副知事に(2)
岩崎 義郎
「声ひろば 命山 吉沢文治郎 50

会社役員」(『高知新聞』より)
拓本 楠瀬大枝墓碑 岡村 庄造
民権ばあさん物語「馬とはちきん

さん」(30) 雲右衛門との約束
(「こうち童話」から)
久米生太子/藤本知子

土佐路の野口雨情(2) 永国 淳哉
戦史11 武士道の広瀬武夫中佐

—鎮魂の旅順港 毛利 俊男
「地名往来(441) 刎橋 水勢を弱
める工夫」(『高知新聞』より)
高野山の土佐関係金石史料調査録
岡村 庄造

九州・沖縄

◆季刊 邪馬台国 梓書院

〒812-0044福岡市博多区千代3-2-1 麻生ハ
ウス3階 TEL092-643-7075 1979年創刊

◇113 2012.4 A5 252p 1238円

巻頭言 夜明けまえの星々
牽牛子塚古墳ははたして斉明天皇
陵か 藤井 利章
〈特集 日本民族の起源 第2弾
邪馬台国前史〉

国宝金印は江戸時代の偽作か 石原 秀晃
『魏志倭人伝』外伝
中国古伝承のなかの「倭」 安本 美典

考古学から見た箸墓古墳の年代
関川尚功氏の講演要旨より 関川 尚功
因幡のワニはサメなのか

稲作の伝播からワニを考える 木村 成生
養蚕の歴史 岡 博
平原鏡から三角縁神獣鏡へ 新井 宏

沖ノ島祭祀前夜—田熊石畑遺跡か
らみた弥生時代の宗像 白木 英敏
タスケ岩の伝説 大野城物語(8)

最終回 古代山城サミット実行
委員会/太神秀一朗
邪馬台国大研究(21) 井上 修一

九州古代紀行(16) 修験道場若杉
山頂の太祖神社を往く 加藤 哲也
私の邪馬台国論

壺との貢献—「重詠」とは 後藤 幸彦
卑弥呼の墓を二つあった? 森田 昇龍

◆末盧国 松浦史談会

〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1
TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊
◇190 2012.6 B5 20p
木造天部形立像 志佐 惲彦
仙台の松浦党小川内氏 寺沢 光世
次は末盧国からの出土だ！ 邪馬
台国ルートを裏付ける楽浪郡の
『花盆形土器』 堀川 義英
唐津の地域民が守ってきた文化財
(5)一唐津「やきもの」の里・
相知 平山の陶祖和兵衛と朝鮮
陶工(上) 相知編(4) 中里 紀元
考古学における唐津地方研究の成
果(22) 時代の証 石鋸(2) 田島 龍太
「平和」か「成和」か 佐々木市太郎
武寧王が継体天皇に贈った隅田八
幡人物画像鏡とは(2) 熊本 典宏
秀島鼓溪 あとがき 嶺川 隆敏
相知文書考察(3) 塚本 三郎
松浦史談会 史跡探訪「神話・伝
説の里、椎葉・高千穂を歩く」 池田 恭子
神話の里を訪ねて(俳句) 杵島とほる

◆浜木綿 五島文化協会

〒853-0002長崎県五島市中央町3-26
カメラのササキ内 TEL0559-72-2409
◇93 2012.5 A5 168p
随筆
交遊録—それぞれの生き方二題
松原 剛
ふくえの街の雛祭り 中村 玲子
水道口と松虫通り 坂口 進
幼年時代の思い出 小島 清
私の感動した短歌(18) 佐々木祥一
食生活中心の花のある日々 遠山 富子
五島歳時記「釣り談義パート2」
武羅井 高

戦争のつぶやきが聞こえるとき
大坪 昇平
五島は私のパラダイスです(1)
雨の中の島めぐり 林 治人
万葉植物雑感 上河 恵賜
郷土の刀「五島住人横山将監源
祐信」への思い 寺田 稔生
追悼 「さらば!!…『遠藤隊長』『遠
藤先生』…」—数々の教訓や思
い出をありがとう 山中 彦昭
伝説 亡き人に逢えるみみらく私
考(2)—『蜻蛉日記』成立の背景
櫻井 隆
提言
新図書館建設と五島の発展—身
の丈にあった設備とは何か 比留木忠治
「浜木綿」をより親しみ深いもの
に 松本 作雄
創作 八幡船 竹山 和昭
史話
富岡製糸場の伝習工女に上った
五島の娘たち—明治十年代の
長崎県勸業課文書から 内海 紀雄
九州に於ける網捕捕鯨の始まり
(最終章) 荒木 文朗
記録
活動の記録(2011.8~2012.2) 片山 圭弘
そのほか・トピックス
第7回五島列島小中高校生 短歌
・俳句コンクール入選作品集
「俳句」総評 田中 俊廣
「短歌」総評 坂 多恵子
詩であること 筑田 俊夫
創立50周年記念式典に島外から
60名余
潮の目 ある日ある時スクラッ
プに拾う
新聞・報道等に見る会員の皆様

のご活躍/新会員のご紹介

◆鹿児島民俗 鹿児島民俗学会

〒890-0056鹿児島市下荒田4-1-18
阿多利昭方 TEL099-253-1775
年4000円 1950年創刊
◇141 2012.6 B5 94p
表紙写真解説
市来七夕踊の(花)笠と衣装 所崎 平
蘭牟田の田の神戻し—麓を中心に
一覚書 所崎 平
長崎唐寺における媽祖堂について
一唐寺の機能をめぐる考察 陳 佳秀
みんぞく・かわらばん
水で鼻を漱ぎカゼ予防 牧 民郎
イザナギ・イザナミ尊称考 牧 民郎
「ホトケバアサン(仏婆様)」を母
とする「隠れ念仏」—シャーマ
ンと「ウチノニョウサン(内の
如様)」(1) 森田 清美
南九州での竜蛇の話覚書(2) 本田 碩孝
古代の津と祭神・池王との関係 徳留 秋輝
資料 鹿児島県の昔話(5)—奄美(瀬
戸内町・宇検村・大和村)の民話
から 下野 敏見
苗代川昭和历史の一視点 黒陶器産
業の株仲間たち 検証 朝鮮姓
「最後の名簿」 大武 進
霧島修験 空順法印の日記につい
て(11) 森田 清美
資料
明和六年『次渡日帳』川邊郷 前床 重治
会計報告・学会活動報告・編集後
記・原稿募集要項

◆宮古郷土史研究会会報

〒906-0013沖縄県平良市下里1223-8
下地和宏気付 TEL0980-72-9963

◇190 2012.5 B5 8p
5・6月定例会レジュメ 復帰四十
年—復帰とは……宮古から考
える 下地 和宏
3月定例会のまとめ
牡丹社事件記念公園解説版 久貝 弥嗣
長南陣地壕発掘調査中間報告 久貝 弥嗣
第21回企画展「～時代によってス
タイルもかわる～祖先のすまい
展」の紹介 砂川 史香
第37回定期総会開かれる
—宮古郷土史研究会 下地 利幸
第16回平良好児賞に戯曲分野の砂
川健次さん 宮川 耕次
5.3「憲法記念日」のつどい「日
本国憲法」の下へ 壮大な「祖
国復帰」運動 仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆近現代の美術家 青森県史叢書
青森県環境生活部県民生活文化課県史編さん
グループ編(〒030-8570 青森市長島1-1-1
県庁舎北棟3階 TEL017-734-9238) 2012年3月
A4 157頁
平成8年度から開始された青森県史編纂事業
によって収集された関連資料などを刊行する
青森県史叢書。本書では、平成22年度『青森
県史 文化財編 美術工芸』刊行後の文献資
料・展覧会目録・新聞記事などの精査をふま
え、青森県出身あるいは関わりの深い近現代
の美術家の経歴や事績について五十音順に配
列して紹介する。近現代の美術家/関係事項
(美術団体・画塾・展覧会等)/近代日本美術
の流れ(洋画・日本画・彫刻)/青森県の創作
版画誌の流れ
◆野辺地町野坂忠尚家所蔵 旅日記関係資料
下 みちのく双書55

青森県文化財保護協会（〒030-0111 青森県青森市荒川字藤戸119-7 青森県立図書館内 TEL017-739-4211）2012年3月 A5 195頁
前集にひきつづき、江戸中頃から酒造・廻船を業とし、南部盛岡藩御用達も勤めた野坂屋二代忠蔵の商用と伊勢参宮、その他の遊山を兼ねた長期の旅日記類「野坂忠尚家所蔵旅日記関係資料」のうち、文政12年の野辺地から花巻までの日記と、東海道中のさまざまな見聞を書き上げた道中記、野坂幸之丞筆の北国道中日記他を収録する。資料口絵／凡例／目次／解題／文政十二年道中記(抄)／文政十二年東海道道中記／卯五月北国道中記／道中記の書上げ／あとがき

◆東北中世史の開拓者 大島正隆資料集
東北文化資料叢書6 史学史・民俗学史料
東北大学大学院文学研究科 東北文化研究室編・刊（〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1 <http://ir.library.tohoku.ac.jp/re/>）2012年3月 A4 250頁

戦前の日本史研究者・民俗学研究者であり、とりわけ東北中世史研究の開拓者として知られる大島正隆(1909年〈明治42〉3月5日～1944年〈昭和19〉1月12日)について、東北大学史料館所蔵「大島正隆文書」から書簡を中心に収録し、その軌跡を明らかにする。総説(柳原敏昭)／家族への 家族からの手紙／石原純への手紙／森嘉兵衛への手紙／柳田国男・平山敏治郎への手紙／大島正隆記念会の記録／東北大学史料館所蔵「大島正隆文書」目録(新訂版)(執筆:佐竹輝昭・佐藤健治・菅根原理・七海雅人・柳原敏昭・山田仁史)

◆佐竹北家文書・佐竹西家文書目録(秋田藩関係文書Ⅲ) 秋田県公文書館所蔵古文書目録8 資料群目録3

秋田県公文書館編・刊（〒010-0952 秋田市山王新町14-31 TEL018-866-8301）2012年3月 A4 208頁

秋田県立秋田図書館に旧蔵されていた文書のうち、佐竹文庫(北家)および佐竹文庫(西家)を「佐竹北家文書」1306点、「佐竹西家文書」1268点、計2574点を収録した目録。佐竹北家文書 江戸期(下達文書、上申文書、書状、記録類、給人・家人系図・由緒書、知行関係、起請文、その他)、戊辰・明治期(戊辰期、明治期)、御日記(北家御日記、御日記抜書)／佐竹西家文書 江戸期(下達文書、上申文書、藩主直書、書状、由緒書・系図、記録、その他)、戊辰期(下達文書、上申文書、書状、軍功、その他)、明治期(下達文書、上申文書、書状、日記類、西家由緒・履歴書・判任状、給人・家人系図・由緒書、家政関係、御用状案紙・手控、社寺・葬礼、その他)

◆福島県歴史資料館収蔵資料目録43

県内諸家寄託文書37
福島県歴史資料館編・刊（〒960-8116 福島市春日町5-54 TEL024-534-9193）2012年3月 B5 56頁
昭和45年の開館以来、約24万点の歴史資料を収集・保存してきた福島県歴史資料館。昭和49年度から刊行を開始した資料目録の43冊目として、4件の寄託・寄贈文書の目録を収録する。国見町小坂区有文書 その1(481点、伊達郡国見町)／菊地武彦家文書(13点、福島市)／関根正美氏寄贈文書(1点、福島市)／官報 昭和期 その2(179点、福島県庁文書)

◆茨城大学中世史研究会の震災体験

茨城大学中世史研究会（〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1 茨城大学人文学部 高橋修研究室 TEL029-228-8120）2012年3月 B5 42頁

特別編集号の刊行にあたって(高橋修)／東日本大震災と茨城大学中世史研究会(高橋修)／茨城大学中世史研究会の大震災アーカイブス)／私たちの震災体験記 被災地・水戸の4日間(平岡崇)、水戸から土浦へ、徒歩での脱

出(阮焜)、忘れられない発掘調査(栗原悠)、大震災のその時、その後(高橋裕文)、東海村役場の震災体験(土屋奈津子)、和紙の展示でよかった(高村恵美)、東京で北区難民となって(森本悠介)、故郷いわき市の惨事の衝撃(山川千博)、津波、原発、避難生活と一時帰宅のこと(泉田邦彦)、インドでの東日本大震災(藤井達也)

◆栃木県指定文化財

那須神社本殿調査報告書

東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻 保存修復建造物研究室編（〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 TEL050-5525-2284）大田原市教育委員会（〒324-0492 栃木県大田原市湯津上5-1081 TEL0287-89-7115）2012年3月 A4 106頁

4世紀の創立と伝えられ、中世には那須氏・大関氏の信仰を集めた栃木県指定有形文化財那須神社本殿について、平成23年度に行われた調査報告書。序(新江侃)／ごあいさつ(津田武兵衛)／例言／凡例／調査の概要(那須神社の位置と歴史的環境、那須神社の境内環境、調査の概要)／那須神社の歴史(古代・中世、近世・近代)／建築年代と構造技法(建築年代、構造技法、類例との比較)／装飾細部と大工(本殿の彫刻、文様・彩画・塗装、細部技法と大工)／総括 那須神社本殿の評価(那須神社の歴史と本殿の建築年代、建築様式史からみた評価、近世建築としての評価)／資料編(那須神社本殿の造営関連史料) 銘文・墨書関係／図版編(写真と図面) 現況写真・現状図面／あとがき(上野勝久・小林直弘)

◆記録史料と日本近世社会Ⅵ 2010～2011年度 記録史料に関する総合的研究Ⅶ 千葉大学大学院人文社会学研究科研究プロジェクト研究成果報告書240

菅原憲二編 千葉大学大学院人文社会学研究

科（〒263-8521 千葉県稲毛区弥生町1-33）2012年3月 A4 161頁

はじめに一記録史料建機融解の活動について(菅原憲二)／近世における芸能興行と被差別民—江戸・京都の事例を中心に(福田美波)／近江国における虚無僧取締り(長谷川佳澄)／播磨国龍野藩儒・股野玉川の活動実態(山田真理子)／『新編会津風土記』の褒善記事—データと関連史料の紹介(横山陽子)／堀田氏家臣団における末期養子手続覚書(藤方博之)

◆2011年度史学科有志卒業記念論文集

菅原憲二監修 千葉大学文学部史学科2011年度卒業生有志（〒263-8521 千葉県稲毛区弥生町1-33 千葉大学文学部史学科菅原研究室 TEL043-290-3575）2012年3月 A4 268頁

はじめに(菅原憲二)／卒業論文集を刊行するにあたって(小野間愛梨)／近世秋田藩における民間宗教者—在地修験を中心に(小野間愛梨)／近世水戸藩の中小姓について—一家臣団構成における位置付け(渡部綾葉)／近世後期出羽国村山郡における郡中惣代制と地域秩序(矢吹龍介)／幕末期剣術習得者の政治意識と行動—武蔵国多摩郡日野宿出身者を中心に(岩井優香)／『英国策論』と公議政体論の関連性—幕末期における次時代政体への思考(小池良輔)／鶴岡放生会と得宗権力—鶴岡放生会流鏑馬検討の一助として(林聡香)／十七世紀における「諸国人物図」の変遷から見る他者意識(酒井静香)

◆八千代の文人たち—歌碑・句碑を訪ねて

千葉県八千代市
村上昭彦著 崑書房出版（〒270-0164 千葉県流山2-296-5 TEL04-7158-0035）2012年2月 B6 148頁 1500円

千葉県八千代市民初めてのタウン誌(季刊)『たうん八千代』80号から最終号、2006年夏から2011年夏まで連載された「八千代の文人たち—市内の歌碑句碑から—」11編と未発表

8編により、八千代市内に多数存在する歌碑・句碑研究の一端を紹介する。『八千代の文人たち』刊行の序(村田一男)／庫之介と福／一流舎東川／一鳥斎梅舟／山口じゃう子／山崎宗斎／太田亭可楽／桜井可昌／三省翁の一族／小島泰堂／市中庵随楽／秀隣庵一成／周郷遜堂／君塚長右衛門の一族／安原家の人々／花の舎香雪／旭生堂東洲／ふたりの秀岳／石井家満登／鳴鐘歴死碑／解説 八千代地方俳壇の変遷—萱田飯綱神社・二枚の奉納句額から／八千代の文人たち 歌碑・句碑MAP／参考文献・論考／あとがきにかえて

◆アメリカ軍無差別爆撃の写真記録—東方社と国防写真隊 「戦争末期の国策報道写真資料の歴史的研究—国防写真隊と東方社を中心に—」2011年度科学研究費助成事業「学術研究助成基金助成金(基盤研究(C))」研究成果報告書

財政治経済研究所附属東京大空襲・戦災資料センター戦争災害研究室編／刊(〒136-0073 東京都江東区北砂1-5-4 TEL03-5857-5631) 2012年2月 A4 94頁

1941年に陸軍参謀本部の下に設立され、主に対外向けの写真宣伝物を制作していた東方社による空襲・戦災関係写真の寄贈資料を中心とした報告書。東京大空襲・戦災資料センター10周年記念特別展図録の機能も盛り込み、展示写真と解説、東方社撮影空襲写真のコンタクトシートも収録する。はじめに／「東方社写真部が記録したアメリカ軍の無差別爆撃」展示概要(小山亮)／東方社写真部撮影空襲被害関係写真一覧(小山亮)／東方社写真部撮影空襲被害関係写真リスト(小山亮)／東方社のあゆみと新資料の歴史的価値について(井上祐子)／東方社と国防写真隊との撮影による空襲被害記録写真の歴史的意義(山辺昌彦)／東方社写真部が撮影した空襲被害関係写真—東京大空襲・戦災資料センターに寄贈

された写真群を中心に(小山亮)／日本写真公社国防写真隊撮影写真について(石橋星志)／日本写真公社国防写真隊撮影写真リスト(石橋星志)

◆金子六郎が語る産業考古学

初代会長のオーラルヒストリー—東京産業考古学会編／刊(〒352-0011 新座市野火止4-8-43 柚須絃一方)2012年2月 A4 21頁

東京産業考古学会創立15周年記念事業の一環として2011年7月10日に実施された初代会長金子六郎氏のオーラルヒストリー(口述記録)である。挨拶と刊行の経緯(田口勇・平井東幸)／インタビュー・金子六郎が語る産業考古学(生い立ちと経歴、東京農工大での研究・教育、織維博物館の開設の経緯と資料収集、産業考古学との出会い、産業考古学会立ち上げの頃、産業考古学会会長の時代、『東京の産業遺産—23区』の出版の経緯、東京産業考古学会の創設の経緯など、15周年を迎えた学会と今後の産業考古学への期待)／金子六郎氏の経歴・同著作一覧(産業考古学関係)

◆郷土再考 新たな郷土研究を目指して

由谷裕哉編著 角川学芸出版(〒102-0071 東京都千代田区2-13-3 TEL03-5215-7831) 2012年2月 A5 284頁 3000円

〔郷土意識、郷土愛の形成〕多胡碑と渡来人のフェイクロア(佐藤喜久一郎)／新田義貞をめぐる歴史叙述と顕彰運動(市田雅崇)／高山神社の成立(時枝務)／秩父の象徴「武甲山」(西村敏也)〔郷土文化のダイナミズム〕戦後における高尾山の観光開発(乾賢太郎)／真宗の土徳と郷土の形成(本林靖久)／真宗村落における祈祷儀礼の継承(亀崎敦司)／百万遍行事の継承(石本敏也)／大隅正八幡宮の放生会(吉田扶希子)

〔郷土・国家・グローバルな世界〕祭事を支

える人びとの志向性(柏木亨介)／小盆地宇宙の神々と信仰(藤本頼生)／本来の祭りの行方(天田顕徳)／帝都と郷土(由谷裕哉)／郷土をめぐる主体なき記憶(及川高)

◆清末日本教習与中国教育近代化

蔭山雅博著 雄山社(〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-6-16 エメラルド青木ビル301 TEL03-6418-5743) 2011年6月 A5 200頁 2000円

本書は20世紀初頭に始まった日中教育文化交流のうち、中国各地の初頭、中等、高等教育機関に赴任した日本人教習・顧問を対象に、彼らの教育活動の実態をできる限り明らかにしようとしたものである。当然のことながら、両国当事者間には近代学校の経営や近代教科のあり方をめぐって様々な軋轢が発生したことであろう。本書では、軋轢発生過程やこれを解決するための両国当事者間の努力の足跡なども研究しながら、所期の目的達成を試みる。

◆村野常右衛門とその時代 民権ブックス25

町田市立自由民権資料館編 町田市教育委員会(〒195-0063 東京都町田市野津田町897 TEL042-734-4508) 2012年3月 A5 128頁

開館25周年記念企画展「至誠の民権家 村野常右衛門とその時代」の記録／記念講演Ⅰ 村野常右衛門と武相の自由民権運動(松崎稔)／記念講演Ⅱ 三多摩壮士の指導者村野常右衛門の軌跡—初期議会期から日清戦争にかけての政治運動を中心に(小宮一夫)／記念講演Ⅲ 村野常右衛門と政友会閥東派(季武嘉也)／記念講演Ⅳ 実業家としての村野常右衛門—横浜鉄道と横浜倉庫(老川慶喜)／村野常右衛門関連年表

◆「高下日記」第五集—昭和14年～昭和17年

大和市史資料叢書13 大和市役所文化振興課市史・文化財担当 大和市(〒242-8601 神奈川県大和市下鶴間

1-1-1 電話046-260-5336) 2012年3月 B5 211頁

大和市下鶴間在住の高下春美氏の祖父恭介氏が、大正8年(1919)1月1日から昭和35(1960)1月9日まで、約42年間にわたり書き留めた日記「神前録」。本書には、昭和14年(1939)から昭和17年(1942)までを収録する。解題樋口雄一)／昭和十四年 神前録／昭和十五年 神前録／昭和十六年 神前録／昭和十七年 神前録／参考文献

◆成島の民俗—神奈川県横須賀市佐島

神奈川大学歴史調査報告13 安室知編 神奈川大学大学院歴史民俗資料科学研究科(〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL045-481-5661) 2012年3月 A4 129頁

大学院歴史民俗資料科学研究科の2010・2011年度民俗資料調査実習の民俗調査報告書。まえがき(安室知)／調査の概要／横須賀市佐島地区の概略／生業のくみたて(海における生業、流通)／社会の組織(町内会、漁業協同組合、子供会、氏子会、佐島の組織について、佐島における東日本震災関連の影響の話について)／日々の生活(衣食住、女性、職人)／神と仏(くらしの信仰、死者供養)／儀礼と祭祀(人生儀礼、熊野社八雲大神祭礼)／あとがき(阿部宇洋・中村慧)

◆明治・大正・昭和 かまくらの女性史

通史

かまくらの男女共同参画市民ネットワーク「アンサンブル21」女性史編さん部会編 鎌倉市人権・男女共同参画課(〒248-8686 神奈川県鎌倉市御成町18-10 TEL0467-23-3000) 2012年3月 A5 346頁

発刊に寄せて／鎌倉郡管内之図／新しい時代の幕開け(変わる世と人々の暮し、コラム 翻訳家の草分け 若松賤子、保養と観光の地、コラム はなも参列したコッホ碑除幕式

の新事実、鎌倉の近代教育、キリスト教の布教と新しい文化、コラム 鎌倉は第二の故郷 相馬黒光、『十二所 小長井日記』に見る女の暮し／大正デモクラシーと関東大震災(大正の風 町の暮し、女たちの組織化、資料 鎌倉婦人会名簿 大正元年一二月現在、職業の確立 女教員、女学校から高等女学校へ、コラム 麗子像のモデル 岸田麗子、大正一二年九月一日午前一時五八分、コラム 権力の壁に挑んだ 伊藤野枝、資料 悲しき追憶一厨川白村博士の死 厨川蝶子、コラム 衣川孔雀の悲劇)／戦争の時代(モダンライフ 大船田園都市と鎌倉山、コラム 芝居や小説になった 長尾よね、「東洋のホリウッド」松竹大船撮影所、戦争への道、コラム 映画女優と演劇青年の恋 吾妻光、銃後の暮し、戦時下の外国人たち)／敗戦そして自治の始まり(鎌倉の占領軍、鎌倉の胎動、コラム おもてなしの心 堀越宗円、女性の暮し、コラム 鎌倉の音楽の普及に貢献 ベルトラメリ能子、新しい教育、コラム 正統『鎌倉教育史』を一人で執筆 岩本富貴栄、女性団体の活動)／高度経済成長と市民生活(女性の新しい生き方、鎌倉の宅地開発と女性たち、コラム 一〇五歳まで描き続けた 小倉遊亀、いのちと生活を守る、コラム 平和運動につきすすんだ女医 藤間身加栄、女性たちの楽しみ、コラム 外国映画の架け橋 川喜多かしこ)／鎌倉ゆかりの女性文学者(女性歌人と俳人、吉屋信子と鎌倉、鎌倉を訪れた女性作家たち、田村俊子会と女性たち、明治・大正・昭和 鎌倉文学地図)／明日にむかって／参考文献／「かまぐら女性史をつくりたい」／かまぐら女性史編さん部会十年のあゆみ／あとがき

◆観光ガイドブック 五智歴史散歩
五智歴史愛好会編・刊(〒942-0081 新潟県上越市五智6-1-11 花ヶ前盛明方)2012年2

月 A5 70頁
昭和46年(1971)高田市と直江津市とが合併して誕生した上越市の五智地区の名所・旧跡を案内する観光ガイドブック。上越市地域活動支援事業。はじめに(花ヶ前盛明)／五智の名所・旧跡(居多神社、国分寺、光源寺、国府別院、白山神社、愛宕神社、明静院、十念寺、乳母嶽明神、御館跡、親鸞聖人上陸の地)／五智の歴史(親鸞と恵信尼 親鸞・恵信尼略年譜、親鸞聖人の越後七不思議、越後府中文化、御館の乱、加賀街道、五智の地名、五智焼、五智の石仏・石造物一覧、国県市指定文化財、上越市略年表)／参考文献

◆富山県高岡市 守山城跡範囲確認調査概報 III
高岡市教育委員会文化財課編・刊(〒933-8601 富山県高岡市広小路7-50)2012年3月 A4 31頁
平成18年度から開始された守山城跡範囲確認調査の調査概報第三集。序文／権力の支配装置としての守山城／守山城外縁部の遺構(鉢伏山周辺遺構群、鉢伏山一城光寺道遺構群、二上山南部遺構群、大師岳と同南部遺構群)／昭和十三年における石割平造氏の県内城跡調査をめぐって／これまでの調査を振り返って(高岡徹)

◆日本海文化研究
富山市教育委員会編・刊(〒930-0881 富山県富山市安養坊47-2 〒076-433-8634)2012年3月 A4 47頁
講演録 古代日本海文化と越中富山(森浩一)／越中渡辺党の中世一神通川水系に広がる伝承(松山充宏)／史料紹介 本法寺「絹本著色法華曼陀羅圖」裏書(松山充宏)／近世後期の新川郡農村における相撲の開催について一加賀藩領広田新屋村を中心に(高岡徹)／第一次世界大戦期の農事改良と地方行政・農会一富山県における正条植・田植の普及過程を通

して(能川(尾島)志保)
◆白山 石川の歴史遺産セミナー講演録 第12回～14回
石川県立歴史博物館編・刊(〒920-0963 金沢市出羽町3-1 〒076-262-3236)2012年3月 A4 1358頁
石川県立歴史博物館の主催による平成23年度「石川の歴史遺産セミナー」の講演録。刊行に当たって(脇田晴子)
〔第12回 近世・近代能登の生産と海運〕近世能登の諸生産と海運一米・塩・素麺・炭(見瀬和雄)／北前船再考(濱岡伸也)／近代能登の産業化と北前船主(中西聡)／第12回パネルディスカッション要旨
〔第13回 能登畠山氏の成立と展開〕能登畠山家と室町幕府一守護体制(川岡勉)／長谷川等伯と能登畠山文化(宮島新一)／第13回パネルディスカッション要旨
〔第14回 能登の祭り文化〕山鉦の祭と能登(植木行宣)／越中の獅子舞・氷見の獅子舞一獅子舞の謎をさぐる(小境卓治)／能登のコト・祭り一くらしの節目(西山郷史)／第14回パネルディスカッション要旨
◆北陸の小京都 越前おおの 幸せ出会い旅 バンフレット
大野市産業経済部観光振興課(〒912-8666 福井県大野市天神町1-1 〒0779-66-1111)・(社)大野市観光協会(〒912-0081 福井県大野市元町10-23 元町会館内 〒0779-65-5521)2012年3月 A4 16頁
旅プラン1 リフレッシュまちなか観光編、リフレッシュ郊外編／旅プラン2 おおの食を堪能した贅沢旅／旅プラン3 オンリーもの！名水編、オンリーもの！体験編／越前おおの春夏秋冬／越前おおの de 山登り
〔越前おおの 散策マップ〕(12頁) まちなか観光マップ／校外観光マップ／亀山公園遊歩道マップ／歴史探索寺町歩きマップ／越前

おおの食事・お泊まり処／越前おおのまちなか循環バス路線図
◆『富士山烏帽子岩身祿之由来記』(1)
富士講アーカイブ選書9
大谷正幸著 富士講アーカイブ(<http://homepage2.nifty.com/kakugyou/index.html>)2011年12月 B5 39頁
角行系富士信仰五世代目の行者・食行身祿(1671～1733)の伝記『富士山烏帽子岩身祿之由来記』(明和8年(1771)成立)の写本(筆者蔵、万延元年(1860)作成)を翻刻・解説。史実としての食行身祿(1)／『由来記』について／『由来記』影印、翻刻、解説
◆『富士山烏帽子岩身祿之由来記』(2)
富士講アーカイブ選書10
大谷正幸著 富士講アーカイブ(同上)2012年8月 B5 42頁
史実としての食行身祿(2)／『由来記』について／『由来記』影印、翻刻、解説
◆『富士山烏帽子岩身祿之由来記』(3)
富士講アーカイブ選書11
大谷正幸著 富士講アーカイブ(同上)2012年8月 B5 42頁
史実としての食行身祿(3)／『由来記』について／『由来記』影印、翻刻、解説
◆京丹後市の伝承・方言 京丹後市史料編 京丹後市史編さん委員会編 京丹後市(〒629-2501 京都府京丹後市大宮町口大野226 京丹後市教育委員会文化財保護課 〒0772-69-0640)2012年3月 A4 329頁 3570円
編集：糸井通浩・明川忠夫
2004年4月の京丹後市の誕生をうけて開始された京丹後市史編纂事業による資料編第3冊。京丹後市内に伝わる伝承を写真を交えながら解説。それらに関わる古文書や縁起の翻刻文を掲載する。はじめに／カラー口絵「円頓寺惣門再興勧進帳」「紙本著色等楽寺縁起」「紙本著色斎明神縁起」「大江山鬼退治絵巻」

「鬼退治屏風」／京丹後市の伝承分布図／目次／凡例／京丹後市の伝承一解説編（女性に関する伝承、古代の伝承、寺社縁起と僧侶の伝承、地名の由来・伝承、京丹後市の伝承に関わる文献一覧）／京丹後市の伝承一資料編（妙性寺縁起、丹後国竹野郡誌「伝説浜詰村誌稿」・「伝説」・「庚申塚（口碑）」、丹後国竹野郡齋宮大明神御宮御造営御寄進帳、丹後七仏薬師并齋宮の略縁起、丹後竹野郡等楽寺縁起、成願寺過去帳、神宮寺縁起及財産調、瑞巖山地蔵尊縁起、薬師堂記、金磨親王御縁記、大江山千丈ヶ嶽酒顔童子由来、縁城寺縁起真名本、永享十二年某康政寄進状（縁城寺文書）、縁城寺年代記、小西山縁記、宝珠山記録、木津村十勝記、本願寺僧衆等注進状案（本願寺文書）、霊嶋山本願寺略縁起、敬白吉野山上山寺縁起序、吉野山上山寺縁起、経会記録、各地に遺された伝承資料）／京丹後の方言（概説一丹後方言の特徴、丹後網野の方言 井上正一著（再録）、会話・説話事例（『京都府の方言』より採録）、京丹後市の方言に関わる文献一覧）

◆慶長二年神吉上村検地帳調査報告／近現代聞き取り調査報告2 八木町史編さん事業 歴史資料調査報告書5

八木町史編集委員会編 南丹市教育委員会（〒622-0000 京都府南丹市小桜町47 TEL0771-68-0055）2012年3月 A4 53+39頁 八木町史編さん事業歴史資料調査の一環として実施されてきた歴史資料調査中間成果報告書の最終集。神吉上村の中近世移行期の土地利用や村の様子を知る「慶長二年神吉上村検地帳」と、昨年度に引き続き実施した町長経験者に対する聞き取り調査、元八木町職員の方々の座談会記録を収録する。口絵／刊行にあたって／凡例／慶長二年神吉上村検地帳（史料翻刻、史料紹介 慶長二年神吉上村検地帳）／聞き取り調査報告2（町長経験者 岸

上吉治氏、元町職員座談会「中川平一郎町政を振り返る」 鶴山太郎氏・齊藤進氏・廣瀬傳次氏）

◆図説 丹波八木の歴史1

考古・地理・文化財編 八木町史編集委員会編 南丹市（同上）2012年3月 A4 215+17頁

平成18年（2006）に京都府八木町・園部町・日吉町・美山町の合併による南丹市発足後も継続事業として平成20年（2008）から進められてきた八木町史編さん事業。本書は、史皆にとつてわかりやすく利用しやすい町史、地域史資料の永続的な保存と活用につながる町史を、という編さん方針のもと、八木町域における考古学上の知見、自然環境と地理、有形・無形文化財などを多数の図版とともに紹介する。刊行にあたって（原田敬一）／凡例／自然環境（概説、自然環境の特色、地質、地形、災害の歴史、活断層）／考古（概説、集落遺跡、コラム 古代の開発と文覚の伝承、古墳、コラム 八木の古墳文化、生産遺跡・城館跡）／地理（概説、東地区、西地区、南地区、北地区、神吉地区）／建築（概説、寺社建築、コラム 石造美術、民家建築）／美術工芸（概説、彫刻、コラム 「霊木化現仏」の世界一霊木から出現する仏、絵画、コラム 八木の仏教と絵画）／民俗（概説、人々の暮らし、コラム 西光寺の六斎念仏、一年の行事と儀礼、コラム 大送神社の綱引き神事）／巻末付録 委員・執筆分担一覧、資料提供・協力者等一覧、事務局・調査員・調査補助員、写真・図・表一覧、参考文献一覧、建築・美術工芸各部門名称

◆丹後国加佐郡上安久村 安久家文書目録4

（現京都府舞鶴市上安久）菅原憲二編 千葉大学文学部史学科菅原研究室（〒263-8521 千葉市稲毛区弥生町1-33 TEL043-290-3575）2011年3月 A4 237頁

旧田辺藩（舞鶴藩）の大庄屋を長く勤めてきた安久家に伝わる安久家文書（京都府立丹後郷土資料館寄託）についての文書目録。調査は1994年3月から開始され、文書目録としては2006年度第1集、2008年度第2集、2009年度第3集に続く第4集で、4000点を超える第四箱分を収録する。解説（菅原憲二）

◆丹後国加佐郡上安久村 安久家文書目録5

（現京都府舞鶴市上安久）菅原憲二編 千葉大学文学部史学科菅原研究室（同上）2012年3月 A4 131頁 旧田辺藩（舞鶴藩）の大庄屋を長く勤めてきた安久家に伝わる安久家文書（京都府立丹後郷土資料館寄託）についての文書目録第5集。5000点以上の文書が収まった第五箱の一部の目録と、第四箱文書の調査過程で参加者が筆写した81点の史料を収録する。解説（菅原憲二）

◆丹後・宮津の街道と信仰

京都府立大学文化遺産叢書5 上杉和央編 京都府立大学文学部歴史学科（〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5）2012年3月 A4 103+126頁 2011年度京都府立大学地域貢献型特別研究「丹後・丹波の街道と信仰の歴史—宮津市を中心に—」の研究成果報告書である。論考編1「巡礼」研究の動向に関するスケッチ（川瀬貴也）、絵画作品に描かれる天橋立について（上杉和央）／現地調査報告 難波野地区聞き取り調査報告（島本多敬）、戦後の難波野の行事（深澤茜）、聞き取り調査のおもしろさ—難波野地区の古老の聞き取りより佐々木夏妃）、本坂道街道調査（深澤茜）、大谷道街道調査（喜多早織）、西谷道・大谷道（上部）街道調査報告（島本多敬）、府中地区旧道調査報告1（喜多早織）、府中地区旧道調査報告2（大井雅晴）、宮津市街道調査報告一文殊～山王宮日吉神社（島本多敬）、天橋立景観調査報告（大井雅晴・喜多早織・深澤茜）、府中地域の

街道石造物調査報告（京都府立大学文学部考古学研究室 菱田哲郎・南園小季・石谷慎・上阪航・栗木悠佑）／論考編2 宮津と朝鮮半島—知恩寺の金鼓とその周辺（井上直樹）、元禄期の寺社行政と本庄宗資—賀茂葵祭再興を中心に（藤本仁文）、近世の道中記にみる宮津・天橋立・成相寺・切戸文殊一宿と名物（東昇）／史料翻刻「西国三十三所順禮道中記」 解題（深澤茜）

◆三田藩家老九鬼家文書詳細目録1

三田市（〒669-1532 兵庫県三田市屋敷町12-27 生涯学習課市史編さん担当 TEL079-559-4466）・神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター（〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1）編・刊 2012年3月 A4 306頁 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターでは、自治体や市民と連携して地域の歴史遺産を地域づくりに活かす活動を積極的に進めている。本書はその一環として、三田市歴史資料収集センター所蔵の1万3000点を超える三田藩家老九鬼家文書についての第一次調査分を掲載した目録第1集（2011年3月刊）をふまえ、第二次調査分の一部も収録した詳細目録。はじめに（奥村弘）／解題 三田藩家老九鬼家文書第二次調査分（澤井廣次）／凡例／三田藩家老九鬼家文書詳細目録 第一次調査分／三田藩家老九鬼家文書詳細目録 第二次調査分（その1）

◆甲山八十八ヶ所 西宮歴史調査団調査報告書1（西宮市文化財資料57）

西宮市立郷土資料館編（〒662-0944 兵庫県西宮市川添町15-26 TEL0798-33-1298）西宮市教育委員会刊（〒662-0918 兵庫県西宮市六湛寺町8-26）2012年3月 A5 111頁 兵庫県西宮市甲山町に所在する神呪寺境内にある四国八十八ヶ所の写し霊場（甲山八十八ヶ所）について、西宮市立郷土資料館と西宮市文化財調査ボランティア「西宮歴史調査

団」により平成18年5月22日から平成21年3月18日まで行われた文化財調査の報告書。はじめに(調査の経過と意義、西宮歴史調査団)／神呪寺の歴史と甲山八十八ヶ所の意義(神呪寺の歴史、甲山八十八ヶ所の創設、甲山八十八ヶ所石造物の特色、弘法大師像の設置について、第一番札所「水大師」について)／甲山八十八ヶ所の現況(第一番札所から第八十八番札所、石造物の銘文)／甲山八十八ヶ所を訪ねる(神呪寺の丁石と道標、市内の八十八ヶ所)／付図 甲山八十八ヶ所位置図

◆ガイドブック 島原半島をフィールドワークする

NPO法人長崎人権研究所編・刊(〒850-0048 長崎市上銭座町2-7 TEL095-847-8690) 2012年1月 新書版 20頁

テーマごとに長崎を歩くフィールドガイドブック。島原城／理性院大師堂 台山天如塔／今村刑場跡 スポット1 医学を支えた人々ー「解剖」の歴史、スポット2 「島原大変」と普賢岳噴火／旧大野木場小学校／セミナー

オ跡・吉利支丹墓碑／原城 スポット3 島原・天草一揆、スポット4 からゆきさん／口之津歴史民俗資料館／雲仙地獄・耳採／首塚・千々石ミゲル碑、島原の子守唄・考

◆西彼杵半島をフィールドワークする

ー遠藤周作と井上光晴の文学を訪ねて

NPO法人長崎人権研究所編・刊(同上)

2012年3月 新書版 29頁

時津港／淵龍山天福寺・皇太神宮／枯松神社／外海地区マップ／遠藤周作文学館／遠藤周作の『沈黙』について(園田尚弘)／出津文化村 外海歴史民俗資料館、出津教会、旧出津救助院、ド・ロ神父記念館(鯛網工場)／愛のひとド・ロ神父(西岡由香)／大瀬戸歴史民俗資料館／中浦ジュリアン記念公園／崎戸歴史民俗資料館／井上光晴文学室／長崎一『地の群れ』のパネル(阿南重幸)／渴望と抵抗ー井上光晴・考(田中良彦)／西彼の石炭(前川雅夫)／崎戸炭坑／横瀬浦 ルイス・フロイス、横瀬浦マップ／浦頭引揚記念平和公園／針尾送信所無線塔

◆後記

かつて、『復刻 銀行通信録』(全203巻)や一連の復興期経済資料(全233巻)など、経済史研究史上に燦然と輝く資料集成の企画で斯界を驚嘆せしめた日本経済評論社の栗原哲也社長から、同氏著『神保町の窓』(影書房、2012.10)をいただいた。同社PR誌「評論」のコラムを中心にまとめたものだ。栗原さんは本欄前号で記した日本近世村落史研究者 木村礎の明治大学の教え子である。それだけでなく長期にわたる出版不況の中で、筆舌に尽き難い困難に直面しながらも、未来社 西谷能雄に学んだ出版の志を反芻し、恩師に励まされ、多くの優れた著者を(勿論読者も)宝とし、同志たる社員と「悪戦苦闘・善戦苦闘」を続けた40年。出版者の本音のつぶやきとしては、「岩田書院新刊ニュース」と双壁をなすといっていいただろう。書かれた内容にも感動するが、真っ白な帯に浮かぶ、『出版の危機』と言われつつつけているが、危機とは儲からないことを愚痴っているのではないか。本当の危機はちがうところにある。出版で富を欲望するのは、犯罪に等しいことだ。」にはたじろがされる。出版は体力勝負とはいえ、まだまだ「弱冠」71、生涯へこたれずに貫き通して欲しい。本誌の読者の皆さんに同社最近刊、中条唯七郎著『善光寺大地震を行きぬく 現代語訳「弘化四年・善光寺地震大変録」』、田中正敬著『地域に学ぶ関東大震災 千葉県における朝鮮人虐殺 その解明・追悼は』をお薦めする。(飯澤)

地方史情報 112 2012年(平成24年)12月 発行 <http://www.iwata-shoin.co.jp>
定価0円(送料90円) 年間購読料 税込1000円(送料として) 振替口座00100-2-564137
発行所: 岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南鳥山4-25-6-103 TEL03-3326-3757